

ア. 平成 27 年度事業の報告

平成 27 年度事業報告

平成 27 年度事業の結果を次のとおり報告します。

I 組織の概要

1 名称

公益社団法人 静岡県建築士会

2 建築士会の責務（建築士法第 22 条の 4 第 1 項）

その名称中に建築士会という文字を用いる一般社団法人は、建築士の品位の保持及びその業務の進歩改善に資するため、社員の指導及び連絡に関する事務を行うことを目的とし、かつ、建築士を社員とする旨の定款の定めがあるものでなければならない。

3 設立・組織・規模

(1) 目的 建築士の品位の保持と技術の向上及びその業務の進歩改善を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。

(2) 設立 昭和 26 年 11 月 25 日

(3) 法人認可 昭和 27 年 6 月 12 日

(4) 会長 佐藤 博行

(5) 役員 理事 16 人（定数：15 人以上 20 人以内）
会長 1 人、副会長 3 人、常務理事 3 人、理事 9 人
監事 4 人（定数：3 人以上 5 人以内）

(6) 組織 本会、3 ブロック及び 15 地区で構成

(7) 会員数 正会員 1,298 名、賛助会員 161 社、計 1,459 名（H28. 3. 31 現在）

4 特記事項

国の公益法人制度改革により、本会は、平成 20 年 12 月 1 日から特例民法法人として存立してきたが、この間、公益社団法人移行への検討、準備を進め、平成 24 年 4 月 1 日付で公益社団法人静岡県建築士会として設立された。

(1) 平成 23 年 9 月 29 日 臨時総会にて公益社団法人静岡県建築士会定款(案)を承認

(2) 平成 23 年 12 月 27 日 静岡県知事に公益社団法人移行認定書を提出

(3) 平成 24 年 3 月 23 日 静岡県公益認定等審議会が認定処分相当の答申

(4) 平成 24 年 3 月 27 日 静岡県知事から公益社団法人移行認定書が交付

II 本会

A 会議

1 総会

(1) 定時総会 27. 6. 3(水)

会場 静岡グランドホテル中島屋

ア. 平成 26 年度事業の報告

イ. 平成 26 年度収支決算（計算書類）の承認の件

ウ. 平成 27 年度事業計画の報告

エ. 平成 27 年度収支予算の報告

2 理事会（8 回）

(1) 第 1 回 27. 5. 20(水)

ア. 新入会員の承認について

イ. 平成 27 年度定時総会について

ウ. 平成 27 年度定時総会に付議すべき事項の決定について

エ. 平成 26 年度事業報告及び財務諸表について

- オ. 平成 27・28 年度倫理委員会委員の推薦について
- カ. 平成 27 年度耐震診断補強相談士講習について
- キ. 専攻建築士登録者の参加登録料等割引について
- ク. 平成 27 年度事務局事務分掌表について
- (2) 第 2 回 27.7.15(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 登録耐震診断資格者講習(木造)等の受託について
 - ウ. 景観整備調査・研究助成事業の決定について
 - エ. 平成 27 年度 7 月補正予算について
 - オ. 平成 28・29 年度会長候補選考委員会の設置について
 - カ. 地域貢献活動助成規約(案)について
 - キ. 静岡不動産流通活性化協議会について
- (3) 第 3 回 27.9.16(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 平成 28・29 年度会長候補選考委員会委員の承認について
 - ウ. 地域貢献活動関係規程の改正について
 - エ. マイナンバーの提出のお願いについて
 - オ. 旅費の支払(振込み)について
- (4) 第 4 回 27.11.18(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 地域貢献活動関係規程の改正について
 - ウ. ブロック調整委員会の検討案について
 - エ. 旅費の支払(振込み)について
 - オ. 会費の口座振替について
 - カ. 平成 27 年度 11 月補正予算について
- (5) 第 5 回 28.1.22(水)
 - ア. 会長候補選考委員会の選考結果報告について
 - イ. 新入会員の承認について
 - ウ. 年会費の取り扱いについて
 - エ. 平成 28 年度収支予算案(1 次査定)について
 - オ. 委員会・機構組織の改編について
 - カ. わが家の専門家診断事業の見直しについて
 - キ. 静岡不動産流通活性化協議会の加入について
 - ク. マイナンバーのご提供のお願いについて
- (7) 第 8 回 26.3.18(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 平成 28・29 年度役員の推薦について
 - ウ. 平成 28 年度事業企画(案)について
 - エ. 平成 28 年度当初予算(案)について
 - オ. 本会委員会・機構等に関する規則等の改正について
 - カ. 平成 28 年度役員会等の日程について
 - キ. 棚卸資産の廃棄処分について

3 監査会(2回)

- (1) 第 1 回 27.5.8(金)
 - ア. 平成 26 年度主要事業及び一般会計の決算監査
(監事 4 名、会長・副会長)
- (2) 第 2 回 27.11.4(水)
 - ア. 平成 27 年度主要事業及び一般会計の中間監査
(監事 4 名、会長・副会長)

B その他の会議

- 1 総務会 (11 回)
- 2 会長特命会議
 <①財務・②ブロック・③公益委員会>
 - (1) ①委員会 (7 回)
 - (2) ①②③委員会 (3 回)
 - (3) ②③委員会 (2 回)
- 3 機構・委員会等
 - (1) 試験機構 (7 回)
 - (2) 地震関連受託機構 (2 回)
 - (3) 景観整備機構 (5 回)
 - (4) 会員厚生委員会 (2 回)
 - (5) 静岡県専攻建築士制度等推進小委員会 (2 回)
 - (6) 静岡県専攻建築士審査評議会 (1 回)
 - (7) 事業研修委員会 (3 回)
 - (8) 住宅関連小委員会 (1 回)
 - (9) しずおか木造塾委員会 (2 回)
 - (10) 青年企画委員会 (7 回)
 - (11) 広報情報委員会 (12 回)
 - (12) まちづくり委員会 (5 回)

C 公益目的事業等の活動

1 建築士資格付与・資質向上事業（公益目的事業1）

(1) 建築士試験・登録事務等

ア. 建築士試験及び合格者の名簿登録等の事業

建築士法に基づき建築士の資格の付与のための資格審査、試験等の業務及び指定登録機関として、合格者の名簿登録、免許証交付等の業務を適正、確実に処理した。

(ア) 一級建築士・二級建築士・木造建築士の試験業務受託

(イ) 一級建築士等の登録申請受付業務

(ウ) 二級・木造建築士の登録・閲覧に関する業務

① 建築士試験業務

・二級建築士・木造建築士 申込受付業務

27.4.9（木）～4.13（月）

会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ

受付会場申込人数 二級 331人、木造 8人（合計563名）

（インターネット申込人数 二級 193人、木造 1人）

（郵送申込人数 二級 30人、木造 0人）

・一級建築士 申込受付業務

27.5.7（木）～5.11（月）

会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ

受付会場申込人数 一級 193人（合計753名）

（インターネット申込人数 一級 473人）

（郵送申込人数 二級 87人）

・二級建築士 学科試験業務

27.7.5（日）

会場 静岡県立静岡城北高校

実受験者数 440人

合格者数 127人（合格率28.86%）

・一級建築士 木造建築士 学科試験業務

27.7.26（日）

会場 静岡県立大学

一級建築士 実受験者数 579人

合格者数 104人（合格率17.96%）

木造建築士 実受験者数 7人

合格者数 0人（合格率0.00%）

・二級建築士 製図試験業務

27.9.13（日）

会場 静岡県立科学技術高校

実受験者数 218人

合格者数 125人 (合格率 57.34%)

・一級建築士 木造建築士 製図試験業務

27.10.11 (日)

会場 静岡県立科学技術高校

一級建築士 実受験者数 210人

合格者数 99人 (合格率 47.14%)

木造建築士 実受験者数 1人

合格者数 0人 (合格率 0.00%)

② 登録申請受け実績

28.3.31 現在

手続の種類	平成 27 年度分			
	一級 建築士	構造・設備 一級建築士	二級・木造 建築士	合計
新規	96	11	134	241
再交付	14	0	17	31
事変書換え	9	0	18	27
再交付+事変 書換	0	0	3	3
携帯免許変更	33	0	9	42
合計	152	11	181	344

イ. 専攻建築士の認定事業

(ア) 専攻建築士の更新登録と認定申請の促進及びPR

(イ) 専攻建築士審査評議会関係会議の開催

・専攻認定制度の運営管理

<事業目的・趣旨>

より高度で専門的な知識と技術を併せ持つ建築士を認定し、社会からの期待と信頼に応える専攻建築士制度の事業の推進と制度のPRを図る。

<委員会開催>

第一回 27.4.14 (火) 本会事務局 6名

<事業内容>

専攻建築士審査会の開催

第二回 (予備審査会) 28.2.9 (火) 本会事務局 4名

第三回 (審査会) 28.2.25 (金) 郵送による在宅審査 10名

<事業効果>

専攻建築士の登録更新者 5領域 12名

(2) 建築士の資質向上のための研修等の事業

ア. 法第 22 条の 4 第 5 項等に基づく研修

(ア)「建築技術に関する講習会」の開催

<事業目的・趣旨>

建築士法第 22 条の 4 に定められたとおり、建築士会の義務として全ての建築士に対してその業務に必要な知識及び技能の向上を図る機会を提供するため、省エネ基準の説明解説、並びに用途変更に伴う注意点や法改正後の適合判定についての専門的な知識や情報を提供する。

<開催時期・場所>

28.2.26 (金) アクトシティ浜松 研修交流センター

<参加人数>

会員 62 非会員 11 名 (合計 73 名)

<事業内容>

第一部

テーマ 『H25 省エネ基準 (RC 造・S 造 住宅・非住宅) と用途変更の注意点、法改正に伴う適合判定機関との連携』

- ・省エネ基準と用途変更の注意点、並びに法改正に伴う適合判定機関との連携について、静岡県建築住宅まちづくりセンターより講師を招いた講習会

1-1. RC 造・S 造 (住宅・非住宅) による平成 25 年省エネ基準

1-2. 用途変更の注意点、法改正後の適合判定機関との連携、その他

講師：(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター

松村香代子 氏 (企画管理部長)

三須 安 氏 (業務部構造審査課長)

袴田 有史 氏 (西部事務所次長)

第二部

テーマ 『マイナンバー制度と建築業界、設計・建設業の経営HowTo』

- ・マイナンバー制度の解説とキャッシュフローの概要について、税理士法人 TSG 早川会計より講師を招いた講習会

2-1. マイナンバー制度の概要について

2-2. キャッシュフローについて

2-3. 税務調査のポイントについて

2-4. 会計事務所から見た経営の成功例、失敗例について

講師：税理士法人 TSG 早川会計 代表 早川國男 氏

所長 大庭弘晴 氏

<事業効果>

近年の建築基準法の改正や目的が理解され平成 28 年度から本格的に実施されるマイナンバー制度の概要の理解ができた。

(イ) しずおか木造塾の開催

<事業目的・趣旨>

建築士の継続教育の一環として、木造の設計・施工に主眼をおき、実務面で役立つ 3 回の連続講座を開催した。平成 12 年度から開催し 16 年目で、講座内容は会報紙「建築静岡」にて情報提供を行った。非会員も受講可能とすることで建築士会への参加を促した。

<開催場所>

- ・静岡県産業経済会館 3 階大会議室 (第 1・2 講座)
- ・江崎ホール 9 階ホール (第 3 講座)

<参加人数>

- ・全講座受講 73名 (会員 37名・非会員 36名)
- ・単講座受講 21名 (会員 12名・非会員 9名)
- 合計 94名 (会員 49名・非会員 45名)

<事業内容・開催日>

- 第1講座 27.10.17 (土)
テーマ 「ヤマベの木構造の極意教えます」
山辺 豊彦 氏 (山辺豊彦構造設計事務所・東京)
- 第2講座 27.11.18 (土)
テーマ 「半田雅俊の住宅設計作法」
半田 雅俊 氏 (半田雅俊設計事務所・東京)
テーマ 「工務店経営とオンリーワンの木の家づくり」
小林 伸吾 氏 (小林建設・埼玉)
- 第3講座 28.1.30 (土)
テーマ 「竹原義二の住宅設計作法」
竹原 義二 氏 (設計工房 無有・大阪)
テーマ 「最新の省エネ施策の動向と対策」
南 雄三 氏 (南雄三事務所・東京)

<事業効果>

今年度は3回の講座を開催し、木造規模の設計を行う際に必要な知識を「構造」「意匠」「施工」「省エネ」と各分野にわたる内容の講座を実施した。会員、非会員を問わず幅広い受講生を集め、各分野で活躍されている講師陣の講座は基本から応用まで分かりやすく、充実した研修となった。

(ウ) 建築三会による建築士・建築士事務所のための改正建築士法講習会

<事業目的・趣旨>

建築三会(静岡県建築士会、静岡県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部静岡地域会)は、改正建築士法が平成27年6月25日から施行するのに伴い、改正法の内容、設計受託契約のポイント等に関する講習会を法施行前に開催した。

<開催日・場所・担当・参加人数>

- (第一回) 27.6.8 (月) アクトシティ浜松 静岡県建築士会
109名 (会員 100名 非会員 9名)
- (第二回) 27.6.10 (水) プラザヴェルデ 静岡県建築士会
97名 (会員 86名 非会員 11名)
- (第三回) 27.6.15 (月) 静岡労政会館 静岡県建築士事務所協会
198名 (会員 165名 非会員 33名)
- 合計 404名 (会員 351名 非会員 53名)

<事業内容>

①建築士法改正の経緯と意義、②建築士法の改正内容及び解説、③改正建築士法による設計受託契約等のポイント

<事業効果>

今回の法改正に伴い、建築士が建築主に明確に説明できなければならない書面契約の義務化及び一括再委託の禁止、監理建築士の責務の明確化、建築士免許証提示の義務化等の知識を得るための貴重な講習会であった。

(エ) 中大規模木造建築物の設計者養成講習会

<事業目的・趣旨>

平成 27 年 3 月に改訂された「JIS A3301 木造校舎の構造設計標準」の考え方にに基づき、流通材とプレカットを活用して、意匠設計者でも比較的容易に且つ経済的・合理的に低層系中大規模木造建築をつくるための設計手法を学ぶ。

<開催日・開催場所>

27.12.17 (木) 静岡労政会館 5 階展示室+第 3 会議室

<参加人数>

全講座受講 44 名 (会員 42 名・非会員 2 名)

<事業内容>

- ・中大規模木造建築物普及の課題・種類・事例紹介・計画手順
- ・流通材の木を現しで用いた中大規模木造のための防耐火計画
- ・大断面集成材や特注金物をなるべく用いない簡易計算による構造計画
- ・中大規模木造建築物の構造材・加工・工法・標準図
- ・モデルプランと建築コスト試算

<事業効果>

流通材とプレカットを活用した低層系中大規模木造建築をつくるための設計手法及び活用方法を学び、建築士としての知識の向上を図ることができた。

(オ) 建築士会インスペクター養成講座

<事業目的・趣旨>

全国の空家数が 820 万戸を超え、中古住宅の流通を活性化させる取り組みが活発化しており、中古住宅の売買時のインスペクション (住宅診断) のニーズが高まっていることから、国土交通省インスペクションガイドラインに準拠しインスペクター養成講座を開催した。

<開催日・開催場所>

28.2.25 (木) プラサヴェルデ 402 会議室

<参加人数>

72 名 (会員 59 名・非会員 13 名)

<事業内容>

- ・ガイドラインの目的と考え方、法的責任・瑕疵保険検査等の説明
- ・インスペクションの部位と調査方法等の説明
- ・報告書の作成方法、チェックシート・検査用具等の説明
- ・修了考査、考査の解説

<事業効果>

受講者は、国土交通省のガイドラインに即した1次インスペクションの検査方法や関係法令等の幅広い知識を身につけることができ、長期優良住宅化リフォーム推進事業における現況検査業務が行えるなど、高い信頼性がアピールできる。また、建築士会インスペクターとして（公社）日本建築士会連合会に登録し、ホームページに掲載された。

- (カ) 各ブロックにおける研修、講習会及び見学会等の開催
ブロック事業参照

イ. 法第22条の2に基づく研修（定期講習会）

- (ア) 未受講者が出ないよう制度の周知方法等の検討
(イ) 受講者の便宜を考慮した受講者増加のための方策の検討

<事業目的・趣旨>

平成20年11月28日に施行された改正建築士法の規定により、建築士事務所に所属する建築士は、3年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う「建築士定期講習」の受講が義務付けられた。建築士がその義務を遅滞なく遂行するため、（公財）建築技術教育普及センターと共同してこの事業を実施する。

<開催時期、場所及び参加人数>

第2期分

（開催日）	（会場）	（参加者）
27.8.26（水）	プラサヴェルデ	55名
27.9.8（火）	アクトシティ浜松	68名
27.9.25（金）	静岡労政会館	76名（合計199名）

<事業内容>

改正建築士法に定められた「建築士定期講習」の実施
講習内容

- ・建築物の建築に関する法令に関する科目
- ・設計及び工事監理に関する科目

<事業効果>

東部・中部・西部3か所での開催により、会員及び建築士の講習会への参加を容易にし、新規及び更新者が確実に定期講習を受講し、建築士としての業務を滞りなく継続できる機会を提供した。

ウ. 継続能力開発（CPD）制度

(ア) 行政機関の実施する入札等で単位取得者への優遇措置導入への働きかけ

(イ) 非会員及び建築施工管理技士へのCPD参加推進

・CPD登録制度

<事業目的・趣旨>

建築士が良好な質の高い建築環境の構築に資するため、指定した研修等を受講したり、建築相談等の社会貢献活動をすることで単位を付与する制度であり、CPD制度の事業の推進と制度のPRを図ると共に、行政機関における入札等で単位取得者への優遇措置導入への働きかけを推進していく。

本年度登録更新料未納者の継続意志確認を行い、登録者数の確定を行った。

<委員会開催>

27. 11. 17（火） 本会事務局 参加者 5名

<事業内容>

CPD登録更新

・平成27年6月1日（月）～6月30日（火）及び随時受付

CPDプログラム認定

・毎月1回認定審査

<事業効果>

CPD登録者数 正会員 329名 賛助会員 8名 非会員 103名
(合計 440名)

エ. 地震関連の資格取得のための講習会

想定される東海地震に備え、県指定の講習会を受託するなど、県の施策に積極的に協力した。

(ア) 応急危険度判定士講習会の受託、実施

静岡県地震被災建築物応急危険度判定士養成講習会を開催した。

<新規・更新対象者>

(開催日)	(会場)	(参加者)
27. 11. 9 (月)	島田土木事務所	34名
27. 11. 17 (火)	袋井土木事務所	32名
27. 11. 20 (金)	伊豆市生きいきプラザ	13名
28. 1. 20 (水)	浜松総合庁舎	101名
28. 1. 26 (火)	東部総合庁舎	71名
28. 1. 28 (木)	静岡県庁	98名 (合計 349名)

講師 会員 6名

(イ) 静岡県耐震診断補強相談士の養成・更新

(一財) 日本建築防災協会主催の国土交通大臣登録/木造耐震診断資格者講習及び木造住宅の耐震改修技術者講習会を受託し開催した。

<1日目 木造耐震診断資格者講習>

(開催日)	(会場)	(参加者)
27.9.29(火)	アクトシティ浜松	212名
27.10.27(火)	プラサヴェルデ	177名
27.12.3(木)	静岡労政会館	201名 (合計590名)

<2日目 木造住宅の耐震改修技術者講習会>

27.9.30(水)	アクトシティ浜松	97名
27.10.28(水)	プラサヴェルデ	105名
27.12.4(金)	静岡労政会館	124名 (合計326名)

オ. 建築士を目指す者への支援

建築家を目指す高校生や建築士の受験資格を有し、建築士を目指す者に対する支援を行った。

(ア) 建築甲子園の静岡大会の開催

<2015年第6回建築甲子園県内予選>

開催日 27.11.14(土)

会場 静岡県中央図書館3階会議室

参加校及び作品名(5校8チーム)

- ①静岡県立島田工業高校 「古民古書」
- ②静岡県立科学技術高校 「徒歩圏～最少から生まれる最適な暮らし～」
「力を与える育つ家」
- ③静岡県立天竜高校 「交流の懸け橋 図書交換所」
- ④静岡県立浜松工業高校 「k a g e y a m a 家改造計画」
- ⑤静岡県立富岳館高校 「富士宮の空き家をレストランに」
「シニアシェアハウス～第三の老後生活～」
「和ん モア タイム」

県予選結果 優勝 静岡県立天竜高校
準優勝 静岡県立島田工業高校
全国大会結果 両校ともに奨励賞受賞

(イ) 後継者の養成

- ①一級建築士製図試験課題の施設見学会 西部ブロック
 - ②二級建築士製図講習会 中部ブロック
- (詳細 ブロック事業参照)

2 地域住民との連携、地域の安全確保のための事業（公益目的事業2）

(1) まちづくり、景観形成事業

ア. 地域貢献活動支援事業

(ア) 活動費助成の対象とするまちづくり団体の選考

<事業目的・趣旨>

地域の建築物の調査・保全・再生、街並みの保全、居住環境の保全・整備、防災まちづくりなどの継続的な住まい・まちづくり活動を進めている団体に活動費助成を行うとともに、専門的知識を生かした支援を行い、地域社会の発展に貢献する。

【助成1】

<助成申請団体及びテーマ>

団体名 NPO 法人 伊久美・楽山舎 代表者 新井 真 氏

テーマ 「近代茶業を築いた集落の価値再発見～伝える・つながる・高めあう」

<助成内容>

- ・3回のワークショップと地域価値共有のためのアイデアマップの纏め。
- ・講師を交えた意見交換によりすぐできる取組(古民家みがき)などの意見共有。

<助成審査>

27.9.2 (水) まちづくり委員会

助成額 150,000円(総事業費 300,000円)

<完了報告>

27.12.25 (金)

<事業効果>

島田市伊久美地区及び周辺市町の住民と地域貢献活動を志す関係団体の協働により、古民家や山村の文化保存活用が図られた。

【助成2】

<助成申請団体及びテーマ>

団体名 見付の長屋プロジェクト 代表者 伊藤佳世子 氏

テーマ 「町に残る長屋を改修して、多世代・多様な人たちの集う地域の居場所を作ろう」

<助成内容>

長屋の改修を伝統工法で行い、その工法を参加者が体験することによって伝統工法の継承、人々がつながる場所を創設する。このため6回の伝統工法を体験するためのワークショップを開催する。

<助成審査>

27.9.2 (水) まちづくり委員会

助成額 153,000円(総事業費 320,000円)

<完了報告>

28.3.18 (金)

<事業効果>

6回のワークショップには子供を含め150名ほどが参加し、日本伝統建築の価値・技術の良さについて体験してもらい、あらためて伝統建築の価値を見直すきっかけとなった。また、地域の関係・コミュニティーづくりの足がかりを作ることができた。

(イ) 第18回地域貢献活動発表会

<事業目的・趣旨>

地域貢献活動の助成団体による活動を発表し、成果や課題を建築士会と活動団体で共有し、活動の発展や支援のあり方についての検討資料とする。また、市民参加による町歩きを通し、実際のまちづくり事例に触れ、地域貢献活動への理解を深め活動の発展を目指す。

<開催時期・内容>

28.3.5(土) 地域貢献活動発表会 (島田市伊久美二俣 二俣公会堂)

テーマ 「地域のお宝 次世代につなぐ」

地域貢献活動発表会 ①「NPO法人 伊久美・楽山舎」

②「見付の長屋プロジェクト」

③「東京農業大学有志」

講演会 演題 「お茶の歴史について」

講師 野村正美 氏

<参加人数>

77名(活動団体等18名/東京農大学生5名/一般市民28名/士会会員26名)

<事業効果>

活動発表会にて団体の活動成果を皆で理解することができた。東京農業大学生の発表では、地元伊久美でのこれからの方向性が確認できた。地域住民との協力、関係構築など、活動ノウハウや運営方法に関する情報交換についての認識を共有した。講演会では「製茶発祥の地」ならではの歴史を知ることができた。また、里めぐりにおいては一般参加者も多く、伝統的な建造物の保全や景観、まち並みを考え、活用を通してまちづくり・ひと作りへと展開させていくための契機を提供する機会となった。

イ. 景観整備事業

地域の良好な景観の形成に関する専門家の育成、情報の提供、その他の支援活動を推進する。

(ア) SHEC まちづくり会議

<事業目的・趣旨>

静岡県建築士会は、平成20年度から「地域文化財専門家」育成研修を実施し、歴史的建造物の維持保全・活用に関する人材育成に取り組んできた。昨年度には静岡県ヘリテージセンターSHECを起ち上げ、職人、行政、所有者との連携を

図って、歴史的建造物を活かしていこうとしている。

しかしながら、歴史的建造物の維持保全にはさまざまな課題があることも確かであり、それぞれの地域で地道な取り組みが重ねられていることから、この事例を学ぶことで更なる資質の向上を図る。

<開催場所・時期>

28.2.6(土) 旧五十嵐邸(静岡市清水区蒲原町)

<参加人数>

SHEC 構成員及び建築士会会員、大工、左官、瓦職人、一般市民 40名

<事業内容>

テーマ 「歴史的建造物を活かしたまちづくり」

<事業効果>

明治、大正時代に建てられた町屋を歯科医院にした歴史的建造物を事例に関係者が一堂に会し、耐震改修や維持保全・活用に関する知識を学び情報共有することができた。

(イ) 景観受託事業

【受託事業1】

- ・「建築士と職人・行政及び広域の組織間連携による歴史的建造物の維持保全・活用・修復・復旧等のための体制整備に関する調査・研究」
- ・公益財団法人 建築技術教育普及センター事業

<調査概要>

三つの組織間連携(①職人、②行政、③広域連携)による歴史的建造物の維持保全・活用等の体制整備のあり方等を検討する。

<受託額・調査期間>

800,000円

27.6.22(月)～28.3.31(木)

<調査実績>

- ・関係四団体(静岡県建築士会、静岡県木造建築工業組合、静岡県左官業組合、静岡県瓦屋根工事業連合会)による「歴史的建造物の維持・保全・活用に関する協定書」の締結(平成27年9月17日付け)
- ・地域にとって重要な歴史的建造物及び群(町並み)のデータベース化による行政との共有化の検討。
- ・平常時及び災害時における歴史的建造物の保全・活用の課題を共有し、災害時に対応できる広域体制の検討。

<事業効果>

歴史的にも文化的にも価値がある建物を保全し活用するため、災害時に於いて近県からの支援を求める広域体制を整備することについて、東海北陸ブロック7県建築士会のコンセンサスを図ることができた。

【受託事業 2】

- ・「伊豆の景観魅力アップ事業に伴う景観検討業務」
- ・静岡県交通基盤部事業

<調査概要>

伊豆地域景観形成保全行動計画策定のための基礎資料の作成、及び行動計画の骨子の作成。

<受託額・調査期間>

2,755,080 円

27.10.30(金)～28.3.15(火)

<調査実績>

- ・発注者が指定する 13 か所を調査し、その現地調査書の整理。
- ・ワークショップ(4 回)の企画・運営により、伊豆地域の課題及び改善方法、基本的な方向性の検討を整理・分析し、行動計画骨子を作成。
- ・全体を纏め報告書を作成。

<事業効果>

伊豆半島地域の多様な景観構成要素を基礎として、景観構成要素の課題、WSの各テーマからの課題や現地調査の課題、景観SWOT分析等から景観課題を整理することができた。

(ウ) 美しいしずおか景観推進機構（県主宰）への参加、協力

- ・静岡県景観賞

<事業目的・趣旨>

県民共通の資産である県土の景観に関する啓発活動を行うことにより、しずおかの美しさを守り、育て創ることに寄与する。

<事業内容>

静岡県景観賞の授与

5 部門 民間施設、公共施設、まちなみ、田園・農山魚村、景観づくり活動

1 部門 1 件の優秀賞

優秀賞の中から優れた 1 地区を最優秀賞（知事賞）とする。

知事賞 『静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」に決定』

主催 美しいしずおか景観推進協議会（建築士会は構成団体）

<募集期間・審査>

募集 27.5 月～7 月まで

書類審査 27.8.4（火） 書類審査

現地審査 27.9.1（火）、9.2（水）、9.11（金）

審査員 建築士会から 1 名

<事業効果>

静岡県が推進する景観賞事業の構成団体として寄与し、優れた景観形成の開発に貢献することができた。

《その他の事業》

①PR活動

市町へ景観整備機構のPR、景観行政団体へ景観整備機構の指定を要請。

- ・静岡県建築士会は、沼津市から平成27年9月8日付けで景観法第92項第1項に規定する景観整備機構の指定（沼津市指令都計第440号）を受けた。

②「建築静岡」景観整備機構・瓦版連載毎号1頁

景観整備機構・瓦版を毎号1頁連載

(2) 県民の安全確保のための事業

ア. 住宅の耐震診断

(ア) 耐震診断出前講演会等の実施（ブロック事業）

- ・「わが家の専門家診断事業」（受託事業）

この事業は、プロジェクト「TOUKAI-0」事業の一環として、住民がわが家の耐震性を知り、耐震改修の重要性を理解することにより耐震改修工事を促進することを目的に実施した。

市 町	受託 件数	市 町	受託 件数
下 田 市	20	御 殿 場 市	85
東 伊 豆 町	17	小 山 町	13
河 津 町	20	御殿場地区計 2	98
南 伊 豆 町	15	静岡市(清水区)	44
松 崎 町	10	清 水 地 区 計(1)	44
西 伊 豆 町	10	静岡市(葵・駿河区)	81
賀茂地区計 6	92	静岡地区計 1	81
伊 東 市	33	御前崎市(旧御前崎町)	0
伊東地区計 1	33	牧之原市(旧相良・榛原町)	23
熱 海 市	15	吉 田 町	13
熱海地区計 1	15	榛原地区計 3	36
三 島 市	29	掛 川 市	110
伊 豆 市	13	菊 川 市	18
伊豆の国市	18	御前崎市(旧浜岡町)	35
函 南 町	19	小 笠 地 区 計 2(1)	163
三島地区計 4	79	磐 田 市	88
沼 津 市	125	袋 井 市	13
清 水 町	18	森 町	34
長 泉 町	11	中遠地区計 3	135
沼津地区計 3	154	浜 松 市	331
裾 野 市	64	浜松地区計 1	331
裾野地区計 1	64	合計 28(2)	1,325

イ. 応急危険度判定

(ア) 総合防災訓練等における応急危険度判定士訓練の実施

平成 27 年度静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練等における応急危険度判定士訓練を実施した。

① 第 1 回当事者会議

- ・開催日 27.4.15 (水)
- ・会場 焼津市役所大井川庁舎
- ・参加者 1 名

② 第 2 回当事者会議

- ・開催日 27.8.11 (火)
- ・会場 焼津市役所アトレ庁舎
- ・参加者 1 名

③ 総合防災訓練(応急危険度判定士模擬訓練)

- ・開催日 27.8.30 (日)
- ・会場 焼津市豊田公民館・焼津水産高校教職員住宅・焼津市環境管理センター
- ・参加者 1 名

④ 平成 27 年度裾野市地震被災建築物応急危険度判定模擬訓練事前打ち合わせ会

- ・開催日 27.12.14 (月)
- ・会場 裾野市生涯学習センター・市営柳端団地
- ・参加者 1 名

⑤ 平成 27 年度裾野市地震被災建築物応急危険度判定模擬訓練

- ・開催日 28.1.13 (水)
- ・会場 裾野市生涯学習センター・市営柳端団地
- ・参加者 1 名

⑥ 平成 28 年度静岡県・掛川市総合防災訓練地震被災建築物応急危険度判定訓練打ち合わせ会

- ・開催日 28.2.4 (木)
- ・会場 掛川市役所
- ・参加者 1 名

(イ) 静岡県東海地震対策士業連絡協議会

想定される東海地震に対し専門家職能団体及びその構成員が専門知識を生かし、防災活動並びに災害復興、被災住民の支援活動を行うため、士業間でさらなる協議・連携強化を深める。

- ・開催日 27.8.21 (金)
- ・会場 静岡県弁護士会館
- ・参加者 2 名

(3) 住宅に関する展示等による情報発信事業

ア. 県民に建築技術や情報提供の場の設定、ホームページや機関紙などの情報発信

(ア) 「静岡県住まい博 2015」や地域の建築展等への参加

- ・開催日 27.9.19(土)～21(月・祝)
- ・場所 ツインメッセ静岡・南館
- ・主催 静岡県住まい博実行委員会
- ・来場者数 27,000名
- ・住まいの相談コーナー(建築士会会員による無料建築相談)
- ・静岡県建築士会の紹介及び活動PR

(イ) 機関誌「建築静岡」の発行

<事業目的・趣旨>

建築に係る最新情報や建築士会の活動状況、各種お知らせ等を定期的に会員及び県民に提供することで、建築士会に対する理解を深めてもらう。

<発行状況>

年4回

- | | | | |
|------|---------|--------------|---------|
| ・春号 | No. 652 | 27. 4. 1 発行 | 1,700 部 |
| ・夏号 | No. 653 | 27. 7. 1 発行 | 1,700 部 |
| ・秋号 | No. 654 | 27. 10. 1 発行 | 1,700 部 |
| ・新年号 | No. 655 | 28. 1. 1 発行 | 1,600 部 |

<情報内容>

建築時事特集、コラム、シリーズ情報、委員会等活動等連載、事業報告、お知らせ等の記事を掲載している。

<事業効果>

機関誌の発行は、公益法人としての建築士会の社会的認知度を高める有効な手段であり、また、会員相互の連携を深めると共に資質の向上にも寄与することができた。

(ウ) ホームページの充実

<事業目的・趣旨>

24.4.1から公益法人化した建築士会のホームページは、その公益性の観点から情報公開の一層の推進を図り、より見やすく活用し易いものとなるよう随時更新しており、WEBサイトの管理及び運用に関し必要な事項を定め、各種情報を会員及び県民にリアルタイムで発信している。

<事業内容>

- ・HPトップページに9つのコンテンツを作成。(①建築士会新着情報、②関係団体新着情報、③行政新着情報、④一般新着情報、⑤活動報告新着情報、⑥建築静岡新着情報、⑦東部新着情報、⑧中部新着情報、⑨西部新着情報)
- ・HPカレンダー機能を追加。
- ・公益法人として情報公開コンテンツの設置。

<事業効果>

ホームページで最新情報をリアルタイム情報で発信すると共に、相互情報の交換など、会員及び県民の利便性の向上と建築士会の円滑な運営・活動に資することができた。

(4) 建築相談事業

ア. 県民の住宅建築に関する様々な相談に対応

県下各地区において、住民からの各種建築相談に対応すべく行政等ともタイアップし定期的に無料相談会を開催している。

(ア) 展示会等における相談コーナーの設置

(イ) 市町主催の住民相談室等への派遣

(ウ) 住宅関係機関等への相談員派遣

ブロック事業参照

(エ) 行政、司法の住宅紛争事案等への専門家派遣

・静岡県建設工事紛争審査会（県所管）の委員として建築士会会員6名が、さらに静岡県住宅紛争審査会処理委員（静岡県弁護士会所管）として、同5名が就任している。

3 法人管理

(1) 会員増強策等の検討

ア. 会員の減少は、組織の将来に関わる重要な問題であることから、できることから実動を図って行くこととした。

①(第1回)会員増強等に関する会議

- ・担 当 会員厚生委員会
- ・日 時 27.6.3(水) 中部ブロック事務局
- ・参加者 6名（本会委員5名、担当理事1名）
- ・内 容 ブロック毎の会員増強の検討等について

②(第2回)会員増強等に関する会議

- ・担 当 会員厚生委員会
- ・日 時 27.12.8(水) 中部ブロック事務局
- ・参加者 11名（本会委員9名、担当理事1名、副会長1名）
- ・内 容 会員増強／魅力ある建築士会作りについて

③東海北陸ブロック会 青年建築士協議会 ブロック修善寺大会

- ・担 当 青年企画委員会
- ・日 時 28.2.20(土)～21日(日) 修善寺総合会館
- ・参加者 150名（東海北陸7県の青年建築士）
- ・テーマ 「原点回帰 修善寺から紡ぐこれからの形」
- ・内 容 1日目 ワークショップ（実践活動報告と意見交換）
2日目 修善寺町歩き
東海北陸ブロックの次世代を担う青年建築士が集結し、業務上の進歩改善や建築士としての品位の向上、各県の建築士会の課題等について

④準会員制度について

- ・ブロック調整委員会において協議

⑤ブロック関連事業

- ・二級建築士製図講習会 中部ブロック
 - ・一級建築士製図試験課題の施設見学会 西部ブロック
 - ・浜松工業高校交流会 西部ブロック
 - ・天竜高校交流会 西部ブロック
- (詳細 ブロック事業参照)

イ. 建築士試験新規合格者への入会案内

建築士養成機関の協力の下、入学式、合格者祝賀会、卒業式へ本会関係者が出向き、建築士会の紹介をするとともに入会を働きかけた。

(2) 会長特命委員会の設置(平成 26. 7. 16 理事会承認)

建築士会を巡る諸課題に対応し、時代に即応した組織及び事業体制を確立し、士会活動の継続的な事業展開と発展に資するため、特命 3 委員会を設置した。

ア. 財務検討委員会

<事業内容>

- ・次年度事業計画、予算等の策定
 - ・当該年度執行事業内容、執行額の査定、効果の検証
- | | | |
|-------|----------------|---------------------|
| 第 1 回 | 27. 5. 12 (火) | 財務状況の把握 |
| 第 2 回 | 27. 7. 7 (火) | 財務状況の把握 |
| 第 3 回 | 27. 9. 11 (金) | 28 年度予算編成準備 |
| 第 4 回 | 27. 12. 10 (木) | 委員会・機構及びブロック予算ヒアリング |
| 第 5 回 | 27. 12. 17 (木) | 1 次査定結果調整 |
| 第 6 回 | 27. 12. 21 (月) | 委員メール会議 |
| 第 7 回 | 28. 1. 26 (火) | 委員会・機構及びブロック予算結果内内示 |

イ. ブロック調整・公益法人・財務検討委員会合同会議

<事業内容>

- ・組織改革に伴う三委員会の調整
- | | | |
|-------|---------------|-----------|
| 第 1 回 | 27. 4. 16 (木) | 各委員会の進捗状況 |
| 第 2 回 | 27. 5. 20 (水) | 組織改革案の検討 |
| 第 3 回 | 27. 6. 16 (火) | 組織改革案の検討 |

ウ. ブロック調整・公益法人委員会合同会議

<事業内容>

- ・組織及び事業体制案の策定
 - ・組織改革と関係規程等の整合
- | | | |
|-------|---------------|-------------|
| 第 1 回 | 27. 6. 26 (金) | 委員会・機構事業の検討 |
| 第 2 回 | 27. 7. 30 (木) | 委員会・機構事業の検討 |

<検討結果>

会長特命委員会が検討した組織及び事業体制の見直し案は、平成17年8月の将来構想の答申に基づき、各ブロック、地区の活性化に努めるものであり、建築士会としての統括及び基本事業、渉外、調整は本会で、その他の事業はブロック、地区で執行することを基本とし、現状の3階建ての体制を見直すことや、各委員会・

機構毎の統廃合の方向について平成28年度から施行することとしている。

具体的には、①試験機構(当面現行組織)、②地震関連業務受託機構(内部組織の地震後対策部会、応急危険度判定、TOUKAI部会を一元化)、③景観整備機構・まちづくり委員会(両組織を統合)、④青年企画委員会(当面現行組織)、⑤事業研修委員会(住宅関連小委員会を廃止し、その事業を内蔵)、⑥会員厚生委員会(専攻建築士等推進小委員会を廃止しその事業を内蔵)、⑦広報情報委員会(当面現行組織)、⑧しずおか木造塾委員会(当面現行組織)とし、本会委員は各ブロックから1~2名に限定する。さらに各委員会・機構の委員数の見直しを図った。

また、わが家の専門家診断事業について、建築士会が業務を受託して15年が経過し、長年の間に地区毎の業務処理や調査費等に相違が見られるようになったことや、平成28年1月からマイナンバー制度が導入されることから、従来の執行体制を見直し、改めて統一した取り扱いとなるよう基本ルールを策定した。当該基本ルールは、①組織体制、②業務の役割分担と処理<地区リーダー、グループリーダー、調査担当者、事務局>、③標準業務単価の設定、④その他確認事項からなり、平成28年度から執行する。平成28年度以降に於いても逐次見直しを図って行く。

Ⅲ ブロック

A 会議

a 東部ブロック

1 東部ブロック協議会 (8回)

第1回 27.4.17(金) 参加者 19名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成 27.28 年度倫理委員会委員の推薦について
- ・事業研修委員会より視察研修について
- ・協議会の進め方、平成 27 年度ブロック予算

第2回 27.5.22(金) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について

第3回 27.7.24(金) 参加者 16名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成 28.29 年度会長候補選考委員の推薦について

第4回 27.9.18(金) 参加者 18名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・1月の協議会日程変更

第5回 27.10.23(金) 参加者 16名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・建築三会合同改正建築士法講習会決算後のブロック配分金について

第6回 27.11.27(金) 参加者 18名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成 28 年度事業計画案・予算案について

第7回 28.1.29(金) 参加者 15名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・新入会員について
- ・平成 28.29 年度東部ブロック・地区役員推薦について

第8回 28.3.25(金) 参加者 13名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定に

ついて

- ・平成 28.29 年度東部ブロック本会役員推薦について
- ・わが家の専門家診断事業見直しについて
- ・平成 28.29 年度東部ブロック本会常設委員会・機構委員推薦、ブロック役員・委員一覧表

2 会員厚生委員会 (6回) 委員会会議

(4/16、5/21、6/18、9/17、10/15、1/21)

3 事業研修委員会 (6回) 委員会会議

(5/8、6/10、8/5、9/29、11/16、12/2、)

4 青年企画委員会 (9回) 委員会会議

(5/9、6/6、7/25、8/29、10/3、11/8、12/19、1/16、3/12)

5 まちづくり委員会(4回) 委員会会議

(5/12、7/28、9/15、2/9)

b 中部ブロック

1 中部ブロック協議会 (8回)

第1回 27.4.16(木) 参加者 17名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・27 年度委員会等の委員交代について
- ・新会員オリエンテーションについて

第2回 27.6.18 (木) 参加者 19名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・全国大会について
- ・新規事業について

第3回 27.8.20(木) 参加者 16名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・H28.29 年度会長候補選考委員会委員の選出について

・H28.29 年度ブロック役員選考について

第4回 27.10.15 (木) 参加者 15名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・H28.29 年度会長候補選考委員会委員の選出について

・H28.29 年度ブロック役員選考について

・財務検討委員会の中間報告について

・応急危険度判定(静岡市の動き)について

第5回 27.11.19(木) 参加者 15名

- ・常設委員会・地区報告について

- ・ 28 年度予算について
 - 第 6 回 27.12.17(木) 参加者 17 名
 - ・ 常設委員会・地区報告について
 - ・ 28 年度予算について
 - 第 7 回 28.1.27(水) 参加者 17 名
 - ・ 常設委員会・地区報告について
 - ・ 28 年度予算について
 - 第 8 回 28.2.18(水) 参加者 16 名
 - ・ 常設委員会・地区報告について
 - ・ 28 年度予算について
 - ・ 28 年度本会役員について
- 2 会員厚生委員会 (5 回)**
委員会会議
(4/8、6/10、10/6、12/18、2/13)
- 3 事業研修委員会 (11 回)**
委員会会議
(4/3、5/8、6/3、7/3、8/7、9/6、10/2、11/6、12/4、1/15、2/5)
- 4 青年企画委員会 (6 回)**
委員会会議
(4/25、7/25、9/5、12/5、2/6、3/19)
- 5 まちづくり委員会 (12 回)**
委員会会議
(4/10、5/22、5/30、7/31、8/14、9/13、9/27、10/23、11/27、2/18、2/26、3/5)
- c 西部ブロック**
- 1 西部ブロック協議会 (6 回)**
- 第 1 回 27.4.3 (金) 参加者 17 名
 - ・ 会員動向及び会費未納者について
 - ・ 建築 3 会による改正建築士法講習会開催について
 - ・ 建築静岡への挟み込み、広告掲載について
 - ・ 平成 26 年度ブロック事業報告会について
 - ・ 平成 27 年度ブロック事業予定について
 - ・ 技術見学会予算書の承認
 - ・ 「女性委員会」設立について
 - ・ 平成 26 年度会員交流会精算書の承認
 - ・ 会員委員長交代について
 - ・ 平成 26 年度西部ブロック報告書作成精算書の承認
 - ・ 入退会の承認
 - 第 2 回 27.6.5 (金) 参加者 15 名
 - ・ 技術見学会補正予算書の承認
 - ・ 東海北陸ブロック会女性建築士会会議出席の交通費予算書の承認
 - ・ 家族ふれあいたい会予算書の承認
 - ・ 東部ブロック主催青年大会予算書の承認
 - ・ 「森岡の家」記録文書作成業務精算書の承認
 - ・ 第 1 回中遠地区講習会予算書の承認
 - ・ 慶弔報告
 - ・ 入退会の承認について
 - 第 3 回 27.8.7(金) 参加者 17 名オブザーバー 1 名
 - ・ 会員の動向及び会費未納者について
 - ・ H28.29 会長候補選考委員会委員の推薦について
 - ・ 全国大会参加登録者について
 - ・ 防犯モデルマンション審査委員の推薦について
 - ・ H28 ブロック事業予算案の提出について
 - ・ 地方創生市民シンポジウム後援依頼について
 - ・ ろうきん「住宅セミナー」講師派遣依頼について
 - ・ 静岡県弁護士会住宅紛争審査会審査委員の推薦について
 - ・ 建築見学会精算書の承認
 - ・ 女性大会オブザーバー参加精算書の承認
 - ・ 設計製図建物見学研修会について
 - ・ HP、ブログ更新研修会予算書の承認
 - ・ 伊豆石の蔵巡回展示事業、予算書の承認
 - ・ 小笠地区、講習会及びジモト行政との意見交換会 精算書の承認
 - ・ 小笠地区「移動パネル展 in 横須賀」予算書の承認
 - ・ 中遠地区第 1 回地区会・講習会・懇親会精算書の承認
 - ・ 慶弔報告
 - ・ 退会届の承認
 - 第 4 回 27.10.2 (金) 参加者 18 名
 - ・ 会員の動向について
 - ・ マイナンバーの提出について
 - ・ 建築関係団体新年会について
 - ・ H28 年度事業計画及び予算について
 - ・ 家族ふれあいたい会精算書の承認
 - ・ 新年懇親会予算書の承認

- ・全国建築士フォーラム予算書の承認
- ・浜工交流会予算書の承認
- ・製図課題建築物見学研修会の報告
- ・ブログ研修会精算書の承認
- ・伊豆石の蔵巡回展示開催について
- ・中遠地区第2回講習会予算書の承認
- ・慶弔報告
- ・入退会の承認

第5回 27.12.4(金) 参加者 17名

- ・平成28年度事業予算について
- ・会員の動向について
- ・「浜松住まい博」相談員派遣について
- ・地方創生シンポジウム、後援について
- ・平成28,29年度会長候補者選考について
- ・建築探訪精算書の承認
- ・新年懇親会来賓の確認等について
- ・全国建築士フォーラム精算書の承認
- ・浜工交流会精算書の承認
- ・伊豆石の蔵パンフレット作成精算書の承認
- ・小笠地区、移動パネル展精算書の承認
- ・中遠地区講習会精算書の承認
- ・慶弔報告
- ・入会承認

第6回 28.2.5(金) 参加者 17名

- ・会員の動向について
- ・委員会・機構組織の改編について
- ・わが家の専門家診断事業の見直しについて
- ・マイナンバーの提供のお願い
- ・H28,29年度ブロック役員選任について
- ・追加事業費について
- ・ブロック協議会組織改編について
- ・「東海北陸ブロック会女性建築士協議会」参加について
- ・天竜高校交流会予算書の承認
- ・東海北陸ブロック大会修善寺大会予算書の承認
- ・H27年度西部ブロック活動報告資料作成依頼
- ・伊豆石の蔵パネル作成について承認

- ・慶弔報告
- ・入退会の承認

2 会員厚生委員会 (10回)

委員会会議

(4/23、5/28、6/25、7/23、8/23、10/22、11/26、12/17、1/13、2/25)

3 事業研修委員会 (8回)

委員会会議

(4/28、5/26、6/24、7/28、9/29、12/22、2/2、3/25)

4 青年企画委員会 (10回)

委員会会議

(4/21、5/27、6/29、7/11、8/26、9/17、10/26、12/11、1/14、3/23)

5 広報情報委員会 (6回)

委員会会議

(4/9、5/11、7/9、9/4、11/20、2/25)

6 まちづくり委員会(9回)

委員会会議

(4/15、6/17、7/15、8/19、9/16、10/21、1/20、2/17、3/16)

7 賛助会委員会(2回)

(5/18、1/12)

B 事業

a 東部ブロック

1 会員厚生委員会

ア. 東部ブロック会員交流バーベキュー大会 (第1回)
(会員厚生・賀茂地区合同)

<事業目的・趣旨>

会員及び家族、職員等との懇親や感謝を目的に実施する。

<開催時期・場所>

27.7.4(土) 西伊豆

<参加人数>

50名

<事業内容>

会員とその家族等の参加でバーベキュー大会を行い、親睦を深める。

<事業効果>

会員の家族間でも横のつながりが出来るなど、ブロック全体の活性化に繋がった。また、新入会員の勧誘も図られた。

イ. 東部ブロック会員交流勉強会 (第2回)

<事業目的・趣旨>

研修をしながら、会員間の親睦を深める。

<開催時期・場所>

27. 12. 3 (木) 沼津プラサヴェルデ

<参加人数>

25名

<事業内容>

賛助会員を交えての勉強会

・「省エネ対応 ハイスペックサッシ アルジオについて」

・「問われる地盤品質 地盤改良工事の見える化について」

・「シロアリ駆除について」

・「最新 法改正情報について」

<事業効果>

直接質問が出来る研修会を通じ、賛助会員と会員の親睦を深める事ができた。

ウ. 東部ブロック会員交流大会 (第10回)

<事業目的・趣旨>

年度末、会員に一年間の東部ブロック各地区及び委員会の事業を報告し理解を求める。

<開催時期・場所>

28. 3. 11 (金) 沼津 プラサヴェルデ

<参加人数>

41名

<事業内容>

各地区、委員会の事業報告

賛助会員のアピールタイム

<事業効果>

会員、賛助会員のブロック活動に対する理解が深まると共に、賛助会員業務のアピールの場となった。

2 事業研修委員会

ア. 地盤講習会

<事業目的・趣旨>

建築士としての自己研鑽講習会

<開催時期・場所>

27. 9. 29 (火) 御殿場市内

<参加人数>

18名

<事業内容>

地盤について

<事業効果>

地盤調査の実演を見学し、業務として注意すべき点や、立会時に確認すべき点など、地盤の考え方を学んだ。又、これからの液状化対策についての考え方を、地盤の種類や改良工法について知ることができた。

イ. 研修見学会

<事業目的・趣旨>

建築物、歴史的町並み等に関する見学会

<開催時期・場所>

27. 10. 30～31 (金、土) 金沢市

<参加人数>

28名

<事業内容>

金沢全国大会参加

<事業効果>

有名建築や歴史的町並みの見学をすることにより、建築士としての仕事の役立つ事が出来、建築士会全国大会(金沢大会)に出席する事により全国の建築士との交流ができた。

ウ. 各地区長事業意見交換会

<事業目的・趣旨>

事業研修委員と各地区長との意見交換

<開催時期・場所>

27. 12. 2 (火) 熱海市下多賀

<参加人数>

14名

<事業内容>

来年度の研修見学会及び講習会について、地区としての要望確認

<事業効果>

地区の活動方針を確認し、来年度事業研修委員会として事業開催する時期及び方法について整合が図られた。

3 青年企画委員会

ア. 青年大会

<事業目的・趣旨>

他ブロックと合同で活動報告や意見交換を行うと共に、親交・交流を図る。

<開催時期・場所>

27.6.20～21（土、日） 伊豆市修善寺

<参加人数>

13名

<事業内容>

他ブロックとの情報交換研修

<事業効果>

他ブロック青年建築士との親睦が深まり、また東海北陸ブロック静岡大会についての会議を行った事で、運営に対する意識の向上が図れた。

イ. 建築展

(事業内容は三島地区に記載)

ウ. 建築士会PR事業

<事業目的・趣旨>

一般市民に建築士の存在をアピールし、広く建築士の存在を認知してもらう。

<開催時期・場所>

27.1.9（土） 富士スピードウェイ

<参加人数>

16名

<事業内容>

ママチャリグランプリに参加し、建築士会の活動を掲示したり、建築士会の旗等でPRを行う。

<事業効果>

一般市民に建築士会及び建築士の存在を認知してもらうと共に、静岡県内外の建築士との交流が図られた。

エ. 東海北陸ブロック青年建築士協議会

<事業目的・趣旨>

他県の青年建築士の活動を知ったり、意見交換・研修を行うことによって、自県のこれ

からの活動の参考にしたり、知識向上を図る。

<開催時期・場所>

28.2.20～21（土、日） 静岡県

<参加人数>

25名

<事業内容>

東海北陸ブロック青年建築士協議会ブロック大会への参加

<事業効果>

多くの建築士との意見交換や研修により知識の向上が図れ、又、他県の活動を知ることにより自県の活動の参考にすることができた。また、静岡県での開催であり、全員が運営に携わったことで、より多くの学びを得る事ができた。

4 広報情報委員会

ア. 建築物フォトコンテスト

<事業目的・趣旨>

建築士会の展示会等での展示及び建築静岡の表紙として採用し、委員のみでなく一般会員の写真も掲載する。自身の設計、施工した物件などの写真を応募することで、設計、施工スキルの向上を図る。

<開催時期・場所>

27.8.1（土）～28.3.25（金）の間

<参加人数>

参加人数 10名

タイトル 45

<事業内容>

士会に所属する会員が撮影した建築物・工作物の写真を募集し、審査の上表彰する。

<事業効果>

建築静岡表紙写真等は委員の所蔵写真などを掲載していたが、一般会員も自身の写真を表紙として採用されることで広報誌に関心がよせられた。

5 まちづくり委員会

ア. 各地区の街づくりの調査（伊豆石現地調査）

<事業目的・趣旨>

地域のまちづくりを勉強し、今後各地での調査研修を実施する。

<開催時期・場所>

27. 11. 11 (水) 伊東市宇佐美

<参加者人数>

6名

<事業内容>

各地域に出向き、その場所の特色を調査する。

<事業効果>

各委員と共に改めて伊豆石の石切り場(石を山から発掘)を見学し、当時の方々の熱意を感じた。今後は東部地区の伊豆石を使った建物などを調査し現地見学等出来ればと思料した。

東部ブロック地区事業

(1) 賀茂地区

- ・東部ブロック会員交流バーベキュー大会
(会員厚生・賀茂地区合同)

(研修内容は会員厚生委員会に記載)

- ・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)

<事業目的・趣旨>

賀茂地区、伊東地区、熱海地区と合同研修会。東京方面の建築、建築関連施設見学

<開催時期・場所>

27. 11. 8~9 (日、月) 東京都

<事業内容>

自由学園明日館 マンホン(世界の材木)、LIXIL(建材メーカー)のショールーム見学

<事業効果>

他地区との合同研修見学会を開催する事により、お互いの業務に対する考え方等の意見交換が出来て良かった。また、材木メーカーの見学会を開催する事により今後の業務の参考になった。

- ・意見交換会新年会

<事業目的・趣旨>

会員相互の親睦を目的とし、情報などの交換も兼ねる。

<開催時期・場所>

28. 1. 23 (土) 下田市内

<参加人数>

13名

<事業内容>

会員間の情報交換、親睦を深める。

<事業効果>

集まる機会が無い状況の中で、年に一度会員が集い活発な意見交換ができた。

(2) 伊東地区

- ・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(研修内容は三島地区に記載)

- ・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)

(研修内容は賀茂地区に記載)

- ・伊東建設関連業者連絡協議会

<事業目的・趣旨>

伊東建設関連業者連絡協議会に建築士会が参加する事によって、行政との意見交換や建設関連の他業界との意見交換を目的とする。

<開催時期・場所>

27. 6. 26 (金) 伊東商工会議所

<参加人数>

3名

<事業内容>

都市計画審議会の参加、情報交換を目的とした懇親会

<事業効果>

伊東地区内の建設関係他団体の代表者、行政担当者との現況、将来への展望等の建設関連業者相互の意見交換ができた。

- ・伊東市技能祭り 2014

<事業目的・趣旨>

建築技能について伊東市の要請で建築士会より講師を派遣し地域貢献する。

<開催時期・場所>

27. 10. 4 (日) 伊東市役所

<参加人数>

4名

<事業内容>

伊東市職業訓練校主催技能祭への参加

<事業効果>

小学生~高齢者まで多くの来場者があった。各ブースに建設関連の他団体の体験コーナー等が設けられ、建築士会伊東地区会員の建築相談コーナーも設ける等、地域に建築専門家として建築士会の貢献をアピールできた。

- ・意見交換会

<事業目的・趣旨>

伊東地区会員の意見交換会を行うことにより会員相互の親睦を図る。

<開催時期・場所>

28. 2. 26 (金) 伊東市

<参加人数>

11名

<事業内容>

会員の親睦・情報交換の為の意見交換会

<事業効果>

伊東地区事業等に対する意見、今後の要望、次年度の事業計画等様々な考えを協議できた。

(3) 熱海地区

・建築相談、応急危険度判定士訓練

<事業目的・趣旨>

熱海市から要請による「防災訓練」及び「建築相談」への対応

<開催時期・場所>

防災訓練 27. 8. 30 (日) 熱海港周辺

建築相談 毎月第3火曜日

<参加人数>

防災訓練 6名

建築相談 毎月1名

<事業内容>

- ・熱海市総合防災訓練の一環として行われる応急危険度判定訓練
- ・建築士として市民の建築相談

<事業効果>

建築相談を通じ市民の安心安全な住環境に寄与すると共に、行政（熱海市）との連携を保つことができた。また、建築士としての意識向上にもつながった。

・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(研修内容は三島地区に記載)

・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)

(研修内容は賀茂地区に記載)

(4) 三島地区

・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(士会、士事協、建設業合同研修)

<事業目的・趣旨>

三島建設業協会会員会社（建設施工会社）と意見交換し、お互いの工事に対する問題点等を話し合う機会をつくる。

<開催時期・場所>

27. 6. 11 (木) 富士市・富士宮市

<参加人数>

伊東地区 2名

熱海地区 2名

三島地区 4名

<事業内容>

建築士と建設関連事業者との意見交換

<事業効果>

伝統的建築物の、施工現場及び完了現場を共に見学、研修する事により多角的な意見交換ができ、知識を高める事ができた。

他団体の会員と情報交換ができ相互の理解が深まった。

・第1回意見交換会

<事業目的・趣旨>

地区会員及び賛助会員意見交換会

<開催時期・場所>

27. 9. 11 (金) 三島市内

<参加人数>

24名

<事業内容>

事業計画の報告、懇親を兼ねての近況報告最近の問題について話し合う。

<事業効果>

ブロック事業・地区事業の報告及び連絡事項の確認。会員の近況報告、情報交換、事業への積極的な参加呼びかけ等親睦会を通じ有意義な意見交換ができた。

・建築展

<事業目的・趣旨>

市民の建築相談、耐震補強相談等に対応すると共に、建築士会をアピールする。

<開催時期・場所>

27. 11. 8 (日) 三島市立北小学校体育館

<参加人数>

17名

<事業内容>

建築相談、耐震補強相談、子供対象ペーパークラフト鉋掛体験

<事業効果>

建築相談、耐震補強相談について、具体的に詳しい説明ができた。

青年企画委員会の協力を得て、子供対象としたイベントにより親御さんを取り込んで広報する事ができた。

他団体(三島耐震協)と共同で耐震補強相談を行った事で、交流が深まった。以上、住民や行政に対し、参加する事により建築士会をアピールできた。

・第2回地区意見交換会

<事業目的・趣旨>

地区会員及び賛助会員意見交換会

<開催時期・場所>

27. 11. 8 (日) 三島市

<参加人数>

12名

<事業内容>

近況報告、最近の問題について、建築展について反省及び今後の開催方法を意見交換

<事業効果>

会員の近況報告、情報交換、事業への積極的な参加呼びかけ等親睦会を通じて有意義な意見交換ができた。

・第3回意見交換会及び新年会

<事業目的・趣旨>

地区会員及び賛助会員意見交換会

<開催時期・場所>

28. 1. 28 (木) 伊豆市

<参加人数>

30名

<事業内容>

会員情報交換及び会員相互の親睦事業

<事業効果>

ブロック事業・地区事業の報告及び連絡事項の確認。会員の近況報告、情報交換、事業への積極的な参加呼びかけ等親睦会を通じ有意義な意見交換ができた。

・研修見学会

<事業目的・趣旨>

製品の生産工程を見学、研修及び地区内会員の情報交換

<開催時期・場所>

27. 6. 12~13 (金、土) 三島市、伊豆の国市

<参加人数>

15名

<事業内容>

システムバス製造工場見学、製品の説明。

<事業効果>

製造工程の説明を受けながらの見学及び、製品を見ながら施工事例の研修をすることにより製品、施工の知識を深める事ができた。

(5) 沼津地区

・沼津市市民建築相談

<事業目的・趣旨>

沼津市民の建築に関する相談

<開催時期・場所>

毎月第二火曜日 沼津市市役所

<参加人数>

毎月1名

<事業内容>

沼津市民の建築に関する相談を受け、建築士としての立場でアドバイスを行う。

<事業効果>

住民の安心・安全に寄与すると共に、沼津市の広報誌に掲載されるなど、建築士及び建築士会活動を啓発できた。

・春の会(地区事業報告会)

<事業目的・趣旨>

地区事業の1年間の運営結果及び次年度の運営方針を報告

<開催時期・場所>

27. 5. 22 (金) 沼津市

<参加人数>

23名

<事業内容>

1年間の事業及び決算報告・次年度の事業計画及び予算の報告・意見交換

<事業効果>

地区の昨年度の事業及び今年度の事業計画を報告すると共に、本会、東部ブロックの事業予定を報告し、会員増強への協力も依頼。会員相互の情報交換の機会を得ることができ、建築士会事業の理解が深まった。

・研修見学会

<事業目的・趣旨>

地区会員の自己研鑽のための見学研修

<開催時期・場所>

27. 8. 20 (木) 東京都、横浜市

<参加人数>

11名

<事業内容>

ホビー横浜、国立近代建築資料館、春海屋

<事業効果>

建物等見学し、会員の技術の向上が図られた。

・街歩き

<事業目的・趣旨>

明治以降大きな変遷を遂げてきた沼津に焦点を当て、改めて建築士の眼で歴史から見つめ直し、街なかの魅力を再発見する。

<開催時期・場所>

27. 7. 11 (土) 沼津市

<参加人数>

10名

<事業内容>

沼津市の歴史・文化を見つめ直し、街なかの魅力を再発見する。

<事業効果>

沼津市の街中を街歩きする事により、街の魅力などを知り、今後の活動の参考とするこ

とができた。

・賀詞交歓意見交換会

<事業目的・趣旨>

地区会員親睦・意見交換

<開催時期・場所>

28. 1. 15 (金) 沼津市

<参加人数>

30名

<事業内容>

会員の親睦を図り、各自の近況及び本会の動向を説明

<事業効果>

本会・東部ブロックの事業予定を報告し、会員増強への協力も依頼。会員相互の情報交換の機会を得る事ができ、建築士会事業の理解が深まった。

・ボウリング大会

<事業目的・趣旨>

地区会員の健康維持・親睦

<開催時期・場所>

28. 3. 4 (金) 沼津市

<参加人数>

25名

<事業内容>

会員間の親睦事業

<事業効果>

本会、東部ブロックの活動状況を報告し、会員増強への協力も依頼。会員相互の親睦や情報交換の機会を得る事ができ、建築士会事業の理解が深まった。

(6) 裾野地区

・会員交流納涼会

<事業目的・趣旨>

情報交換、会員相互の親睦

<開催時期・場所>

27. 8. 27 (木) 裾野市

<参加人数>

10名

<事業内容>

会員同士の親睦事業

<事業効果>

会員相互の親睦、情報交換により地区活動の理解が深まった。

・ **建築無料相談**

<事業目的・趣旨>

市民が気軽に相談できる建築無料相談及び、建築士会のPR

<開催時期・場所>

27.4.20(月)、6.22(月)、8.20(木)、
10.20(火)、12.21(月)、28.2.22(月)
裾野市役所

<参加人数>

6資格団体相談員各回1名

<事業内容>

裾野市役所4階会議室で資格団体と共同で無料相談を行う。

<事業効果>

住宅や建物に関する無料相談を行うことにより、市民の安心・安全な住環境の手伝いをすることができた。

・ **研修見学会**

<事業目的・趣旨>

建築物や新しい技術などの視察研修を行い建築士として資質向上と学識を高める。

<開催時期・場所>

27.11.18(水) 横須賀・鎌倉

<参加人数>

10名

<事業内容>

記念艦三笠、建長寺

<事業効果>

細心の建物建造物の見学をすることによる建築士としての資質向上を図った。

(7) **御殿場地区**

・ **三合同研修会**

<事業目的・趣旨>

市役所及び関連団体との調整協議等の研修

<開催時期・場所>

27.7.9(木) 御殿場市民会館

<参加人数>

60名

<事業内容>

法令解説、申請手続き等の研修会事業

<事業効果>

御殿場市・小山町・広域行政組合消防本部の担当者により各種申請手続きが説明され、書類作成業務の効率化等会員の資質向上を図ることができた。

・ **三合同親睦会**

<事業目的・趣旨>

関係三団体の合同親睦会

<開催時期・場所>

27.10.18(日)

<参加人数>

4名

<事業内容>

三合同研修会実施に伴う行政書士会、建築士事務所協会との親睦

<事業効果>

参加者のほとんどが普段体を動かす機会がなく無理する事のない手軽なスポーツで好評であった。また、三合同の企画は他に研修会だけでその後親睦会では話題が多岐にわたり有意義なひと時となり来年の開催を望む声も多く、もっと参加者を増やす努力も必要との話が出た。

・ **来期打ち合わせ地区新年会**

<事業目的・趣旨>

首長を交えた会員の情報交換会

<開催時期・場所>

28.1.23(土) 御殿場市

<参加人数>

17名

<事業内容>

各市町のまちづくりについて首長の考えをお聞きすると共に、会員同士の親睦を図る。

<事業効果>

本年度の反省、来期の目標等御殿場市、小山町の首長から直接話を聞くことが出来、士会としての要望、希望等を織り交ぜながらの会話をしながら懇親を深める事ができた。御殿場市長からは、来期の耐震補強についての補助金アップを検討している。小山町長からはインスペクターについて御殿場地区会に相談したいことがある。など、来期に希望が持てる話が出来た。

(8) 富士地区

・富士市キッズジョブ事業

<事業目的・趣旨>

主に小学生を対象にペーパークラフトを使い立体的な家を作ってもらうことによりものづくりの楽しさ、建築というものに対して興味を持ってもらう。また親御さんに対しては「建築士の仕事」のPRを行うことで建築士という職業を理解してもらう。

<開催時期・場所>

27.8.22～23（土、日） ふじさんめっせ

<参加人数>

会員 30名 一般 130名

<事業内容>

「夢のおうちをつくろう」のテーマのもと、ペーパークラフトで家を作ってもらう。同時に「建築士の仕事」のPRパネルの展示、会員の作品展示等も行う。

<事業効果>

「キッズジョブ 2015」と云う、仕事を体験して学んで未来の自分を見つけに行こうをテーマにした富士市主催のイベントの「お仕事体験エリア」に出展しペーパークラフトで立体的な家づくりを体験することで建築士の仕事を子供たちとその親御さんに理解してもらう機会になった。

・キャッチTHE鯿

<事業目的・趣旨>

地区を超え、会員の家族を含めた幅広い親睦を図る。

<開催時期・場所>

27.6.21（日） 富士宮市

<参加人数>

45名

<事業内容>

鯿のつかみ取り・バーベキュー会員の子供対象リクリエーション

<事業効果>

会員間の親睦が深まると共に、建築士会の活動を支えてくれる家族に対してのPRも兼ねており、建築士会の活動に対する理解を深めてもらうことができた。

・会員意見交換会

<事業目的・趣旨>

建築士会の組織全般に関する意見交換を行い、組織の今後の運営、活動等に活かしていくことにより、より良い建築士会を作る上げる。

<開催時期・場所>

28.1.14（木） 富士市

<参加人数>

27名

<事業内容>

会員の増強、会員意識啓発、会員資質の向上、会員親睦、福利厚生に関する事項等々、幅広いテーマにそって意見を出し合い議論する。

<事業効果>

各委員会の動向がわかり会員意識の向上につながった。また、事業の経過と予定が確認でき事業参加者増強につなげることができた。次期各委員会・機構等の新出向者の選出の準備会。

・法令講習会

<事業目的・趣旨>

建築関連法令の改正点や行政サイド等からの要望事項等に関する講習会を開催することで、業務に関する有用情報の伝達機会を設け、会員資質の向上を目指す。

<開催時期・場所>

27. 11. 19 (木) 富士市交流プラザ

<参加人数>

35名

<事業内容>

建築関連法令の改正点等について、行政関係者等を講師として招く会員対象の講演会

<事業効果>

- ①省エネ法の概要・タイムスケジュール
- ②住宅関連の支援策の動向
- ③最新 CAD 情報

各講師より丁寧な説明を受け会員の今後の業務に生かせる講習となった。

・まちづくり研修見学会

<事業目的・趣旨>

県東部の特色である「まちづくり」に関連した建造物・庭園等を現地に出向き見学する体験型研修であり、建築士として広い分野の知識を深めることにより会員の資質向上を図る。

<開催時期・開催場所>

28. 3. 5 (土) 神奈川県

<参加人数>

20名

<事業内容>

小田原文学館 松永記念館 清閑亭 箱根富士屋ホテル

<事業効果>

- ・小田原文学館 (旧田中光顕別邸)
芝生庭園の中にあるサンルームを設けたモダン洋館
- ・松永記念館 (旧松永安左エ門別邸) 老樗荘
昭和の電力王、松永安左エ門(耳庵)が設立した記念館と晩年を過ごした居宅、老樗荘。
奈良・平安時代の石造物が置かれた庭園は「日本歴史公園 100 選」に選出

・箱根富士屋ホテル

平成 9 年に本館、1・2 号館、アイリー、花御殿、食堂及び菊華荘が、登録有形文化財と

なる。平成 19 年に本館、西洋館、食堂棟、花御殿、カスケードルーム及び厨房が、近代三協遺産群「富士屋ホテルと箱根観光関連遺産」に認定される。

現地ボランティアガイドの説明を受けながら散策。歴史的背景及び建築様式を持つ作品を体験する事で建築業務へのフィードバック・まちづくりへの参画への再認識ができた研修となった。

b 中部ブロック

1 会員厚生委員会

ア. 全国大会石川大会

<事業目的・趣旨>

石川大会へ参加し、大会事業に協力すると共に、石川県建築士会との交流を図る。

<開催時期・場所>

27. 10. 30 (土) ~ 31 (日) 金沢市

<参加人数>

30名

<事業内容>

1泊2日の行程により、石川大会参加、並びに石川県の文化・歴史・建築に接する。

<事業効果>

石川県建築士会会員並びに地元の人々との交流並びに相互理解を深められた。

イ. サッカー大会

<事業目的・趣旨>

建築士会中部ブロック会員間と他団体との交流並びに親睦

<開催時期・場所>

27. 7. 19 (日) 島田市金谷人工芝サッカー場

<参加人数>

80名

<事業内容>

サッカー大会を通じ、会員相互及び他団体との交流を深める。

<事業効果>

建築士会中部ブロック会員と他団体会員との交流が深められた。

ウ. ブロック報告会

<事業目的・趣旨>

本年度事業活動内容を、中部ブロック正会

員並びに賛助会員に報告

<開催時期・場所>

28.3.4 (金) 静岡県コパシオンセンターグラウンド

<参加人数>

53名

<事業内容>

本年度事業活動内容の報告、来年度事業予定内容、及び来年度以降の中部ブロック役員を紹介を中部ブロック正会員、並びに賛助会員に報告する。

<事業効果>

中部ブロックの活動内容を理解、並びに会員相互の親睦を深める事ができた。

2 事業研修委員会

ア. 2級建築士製図講習会

<事業目的・趣旨>

建築士会のPRと会員募集案内

<開催時期・場所>

27.8.2 (日)、8.9 (日)、8.23 (日)、8.30 (日)、9.5 (日)

建築士会中部ブロック事務局

<参加人数>

5名

<事業内容>

2級建築士製図試験受験者に製図試験の図面作成の方法を指導すると共に、建築士会をPRする。

<事業効果>

製図講習会を通して建築士会のPRをすることにより会員拡大に期待ができる。

イ. 見学研修会 (全国大会会員厚生委員会合同)

<事業目的・趣旨>

全国大会の参加や歴史的建築物を見学することにより建築士としての知識を深めてもらう。

<開催時期・場所>

27.10.30日 (金) ~31日 (土)

<参加人数>

30名

<事業内容>

第58回建築士会全国大会石川大会に参加
粟津演舞場・那谷寺・金沢市内施設見学

<事業効果>

建築士として知識の向上につながった。ブロック会員の懇親になった。参加人数が去

年と比べて増員になった。

エ. 建築相談

<事業目的・趣旨>

建築市民相談

<開催時期・場所>

- ・清水区役所 (毎月第2火曜日)
- ・静岡区役所 (毎月第1・第3火曜日)
- ・あんしん住まい相談
清水社会福祉会館 (毎月第2第4木曜日)
静岡城東保健福祉エリア リハ・パーク
- ・あんしん建物相談室 ミーナ葵
葵タワー7階 (毎月第2第4水曜日)

<相談員数>

各回1名

<事業内容>

市民を対象とした無料の建築相談会

<事業効果>

市民の安心・安全な住環境に資することができた。

3 青年企画委員会

ア. 全国大会石川大会

<事業目的・趣旨>

静岡県建築士会青年企画委員の青年企画事業へのオブザーブ。
建築士会青年企画委員会のPR。

<開催時期・場所>

27.10.29 (木) 30 (金)、31 (土)

<参加人数>

青年企画委員5名参加

<事業内容>

全国大会の青年事業全国建築士フォーラム・セッションへの参加

<事業効果>

静岡県の青年建築士を全国大会へ派遣する事により、静岡県建築士会をPRすると共に、各県の情報を収集できた。

イ. 青年大会 青年大会参加 (継続事業)

<事業目的・趣旨>

東海北陸ブロック会青年建築士協議会修善寺大会について、各担当に分かれて内容確認及び検証。

<開催時期・場所>

27.6.20 (土)、21 (日) 伊豆市修善寺 (東部ブロック主催)

<参加人数>

12名

<事業内容>

ワークショップ運営方法の検証、修善寺町歩きの下見、青年交流懇親会の交流

<事業効果>

静岡県の各ブロックの青年委員と情報交換と各ブロックの現在の状況・情報を共有できた。

ウ. 東海北陸ブロック修善寺大会

<事業目的・趣旨>

東海北陸ブロックで毎年開催される青年大会への参加

<開催時期・場所>

28.2.21(土)、22(日) 伊豆市修善寺

<参加人数>

14名

<事業内容>

全体会議・ワークショップ・懇親会・修善寺町歩き

<事業効果>

静岡県建築士会青年企画委員会の活動を東海北陸ブロックでPRすることができた。

エ. 他ブロック青年企画委員会事業体験

<事業目的・趣旨>

中部ブロック青年企画委員会にはない発想・建築士のPRの手法等を見て感じその後の委員会活動に生かし、ブロックの建築士の資質向上・会員拡大に繋がる事業計画の内容充実を図る。

<開催時期・場所>

27.8.22(土) (有)まはえさんのサービス付高齢者住宅「まはえ瀬名花壇」施設見学

<参加人数>

3名

<事業内容>

一級建築士製図試験課題建物見学研修会の運営・参加

<事業効果>

受験者は比較的若い世代が多いため年齢の近い青年委員会が行うことにより建築士会を身近に感じてもらえ建築士会のPRに繋がった。

オ. 青年企画勉強会

<事業目的・趣旨>

中部ブロック各地区の青年企画委員が勉強会を企画し会員の資質の向上を図り、会員外への建築士会のPRをする。

<開催時期・場所>

第1回 27.7.25(土) 中部ブロック事務局

第2回 27.9.5(土) 中部ブロック事務局

<参加人数>

第1回 7名

第2回 9名

<事業内容>

第1回 架構設計の家づくり

第2回 住宅の省エネ設計の基本

<事業効果>

各地区の青年企画委員との交流、また建築士会非会員への建築士会のPRができた。

4 広報情報委員会

<事業目的・趣旨>

建築士会中部ブロックの各地区活動を広報

<事業内容>

中部ブロックのブログへの記事掲載、及び管理。中部ブロックホームページへの、記事掲載のマニュアルを作成

<事業効果>

各委員長が、独自にホームページへの記事掲載、編集が可能となった。

5 まちづくり委員会

ア. 研修見学会

<事業目的・趣旨>

伝建地区に指定された美濃司商屋町と永保寺の国宝の建物と庭園、磯崎新設計の現代建築のミノセラミックパークを巡る。

<開催時期・場所>

28.3.20(日) 岐阜県美濃市、多治見市

<参加人数>

40名

<事業内容>

美濃市伝建地区と永保寺ガイド説明。

<事業効果>

歴史保存の様々な話を聞くことができ、身近な地域文化財の保護済世に活かせる。

イ. 市民講座

<事業目的・趣旨>

市民と一緒に体験学習する講座

<事業内容>

○第一回（清水地区担当）

- ・場所 島田市伊久美二俣公会堂、里屋敷
- ・日時 27.9.13（日）
- ・参加人数 50人
- ・テーマ「よそ者が見つけた伊久美の強み」
- ・講師 内藤旭恵氏（静岡産業大学情報学部）
- ・概要 集落の外の参加者が東京農大の学生が引率するグループでまち歩き、要所で地元の方の説明を聞き、集落の良さや問題点などを意見出しするワークショップ。

○第二回（志太地区担当）

- ・場所 焼津公民会
- ・日時 27.9.27（日）
- ・参加人数 90名
- ・テーマ「焼津湊と堀川沿いの蔵群&まち歩き」
- ・講師 地域文化財研修 焼津の蔵調査チーム
- ・概要 焼津市浜通り地区の堀川沿いの蔵の調査報告。清水の次郎長生家の保存、回収の活動の報告、その後まち歩きを実施。

○第三回（清水地区担当）

- ・場所 島田市伊久美二俣公会堂
- ・日時 27.10.17（土）
- ・参加人数 50名
- ・テーマ「地元棟梁が公会堂周辺を磨く」
- ・講師 大塚 隆（棟梁）まちづくり委員会
- ・概要 島田市内の小学生と江戸時代の民で建物の説明を聞きまち歩き一部古い民家の外壁の修繕。その後集落の良さや問題点などを小学生と意見交換するワークショップ。

○第四回（地域貢献事業サポート）

- ・場所 島田市伊久美農村環境改善センター
- ・日時 27.12.12（土）
- ・参加人数 40名
- ・テーマ「みんなで語ろう伊久美の未来」
- ・講師 二村悟氏客員研究員（工学院大学）
- ・概要 二村先生がかかわった全国津々浦々の地域のお宝（建築）と環境の保存、活用についての紹介。アテ`イマップのまとめ。

<事業効果>

一般市民を対象としたことで建築やまちづくりに対して興味を持って頂けたと同時に建築士会の存在も知ってもらえた。

ウ. 地域貢献活動発表会支援

<事業目的・趣旨>

地域貢献活動に参加し、各地のまちづくりを学ぶ。

<開催時期・場所>

28.3.5（日） 島田市伊久美二俣公会堂

<参加者人数>

80名

<事業内容>

発表会への参加及びワークショップ、懇親会の準備「伊久美楽山舎と見付の長屋プロジェクト」2件

<事業効果>

各地でのまちづくり事業への取り組みを学ぶ事ができた。

中部ブロック地区事業

（1）清水地区

・清水みなと祭り

<事業目的・趣旨>

清水地区会員相互の親睦・市民との交流

<開催時期・場所>

27.8.1（土） 静岡市清水区

<参加人数>

15名

<事業内容>

清水市伝統の港かつぼれ総踊りに参加

<事業効果>

清水地区会員の結束の強化と建築士会のPRを行った。

・第25回職人まつり

<事業目的・趣旨>

他団体・市民との交流

<開催時期・場所>

27.9.27（日） 静岡市清水区

<参加人数>

10名 静岡市役所建築指導課3名

<事業内容>
建築指導課と組んで“我が家の耐震診断”
の啓発
<事業効果>
“我が家の耐震診断”の市民へのPR・1件の
相談があった。

・まち育て講座

<事業目的・趣旨>
地域住民との交流、地域防災の学習
<開催時期・場所> 静岡市清水区
27.10.17(土)
<参加人数>
5名
<事業内容>
西奈南小学校学区子供会を対象に地域防災
について子供たちと共に学んだ。
<事業効果>
地域との交流・建築士会をPRすることが
できた。

・勉強会(清見寺)

<事業目的・趣旨>
興津 清見寺見学会
<開催時期・場所>
27.5.31(日)
<参加人数>
総計15名 他 士会員以外数名
<事業内容>
神社建築の保存を含む今後の有効利用に向
けての活動
<事業効果>
建築士としての知識の向上・会員相互の情
報交換を行えた。

・勉強会(省エネ基準勉強会)

<開催時期・場所>
27.5.13(水)、27.6.10(水)、28.2.6(土)
<参加人数>
総計50名
<事業内容>
外皮計算・一次エネルギー計算の講習、ソ

フトノ活用方法、断熱財メーカーによる具
体的活用の学習

<事業効果>
省エネ基準の義務化に向けての対策と意識
付けができた。

・交流会

<事業目的・趣旨>
清水地区会員相互の親睦
<開催時期・場所>
第1回 27.7.24(金) 静岡市清水区
第2回 28.2.13(土) 静岡市清水区
<参加人数>
第1回 20名
第2回 15名
<事業内容>
清水地区会員相互の親睦
<事業効果>
清水地区会員相互の情報交換・建築士会の
活動の計画及び報告を行い会員相互の理解
が深まった。

(2) 静岡地区

・視察研修事業

<事業目的・趣旨>
会員の自己研鑽を図る。
<開催時期・場所>
27.11.15(日) そなエリア(東京江東区)
<参加者>
19名
<事業内容>
防災体験学習施設見学、横浜市歴史的建造
物群視察。
<事業効果>
防災拠点となる施設見学を行うことで改め
て建築士としての防災の役割を考える機会と
なった。また、建築士同市で建築物をみて廻
り意見を交わすことで自己研鑽が図れた。

・地区委員会

<事業目的・趣旨>
地区の活性化推進

<開催時期・場所>

- ・事業委員会 中部ブロック事務局
27. 12. 16 (金) 5名

(3) 志太地区

・建築基準法改正による講習会

<事業目的・趣旨>

建築士業務の遂行にあたり必要な情報の取得。

<開催時期・場所>

27. 4. 30 (木) 藤枝文化センター

<参加人数>

41名

<事業効果>

建築士業務の遂行にあたり必要な情報の取得ができた。

・親睦事業 (ママチャリ GP に参加)

<事業目的・趣旨>

自転車レースに参加することにより地区会員間の交流・親睦を深める・建築士会の PR

<開催時期・場所>

28. 1. 9 (土) 富士スピードウェイ

<参加人数>

11名

<事業内容>

富士スピードウェイにて開催のママチャリ自転車レースに参加。

静岡県建築士会ののぼり旗・ブルゾンによる PR 活動。

<事業効果>

会員間の親睦が得られ、建築士会の PR もできた。

・視察見学会

<事業目的・趣旨>

会員家族を含めた地区会員間の交流を深める。

<開催時期・場所>

28. 3. 26 (土) 神奈川県猿島

<参加人数>

40名

<事業内容>

- 歴史的建築物と、構造物の視察による研修
・猿島・記念艦三笠

<事業効果>

会員家族を含めた交流をすることで会員相互の結びを強くすることで退会の抑制及び事業への積極的な参加に繋がった。

・地区会

<事業目的・趣旨>

地区の活性化推進

<開催時期・場所>

27. 4. 15 (水) 6名

27. 6. 9 (火) 6名

27. 8. 6 (木) 5名

27. 10. 14 (水) 5名

27. 12. 2 (水) 5名

28. 1. 14 (水) 5名

28. 3. 15 (火) 5名

各回 サンライフ藤枝

<事業内容>

地区事業等の調整

<事業効果>

地区活動に対する意見交換ができ、地区の活性化に繋がった。

(4) 榛原地区

・研修親睦会

<事業目的・趣旨>

福岡方面の有名な建物の見学を通じて、知識の研鑽と会員相互の親睦を図る。

<開催時期・場所>

27. 6. 6 (土) ~ 7 (日) 福岡県

<参加人数>

15名

<事業効果>

建築技術の研鑽と会員相互の親睦

歴史的建築物、斬新な建築物を実際に見ることにより感銘を受けた。

・地区講習会

<事業目的・趣旨>

地区会員の資質向上のための講習会

<開催時期・場所>

第1回 27.5.29(金) 静波防災センター

第2回 28.1.29(金) 静波防災センター

<参加人数>

第1回 25名

第2回 25名

<事業内容>

第1回 改正建築基準法関連講習会

第2回 建築ソフトホームズ君のわかりやすい解説

<事業効果>

仕事に直結した知識を会員に提供し、最新の仕事に必要な知識が習得できた。

・地区交流会

<事業目的・趣旨>

会員相互の情報交換と親睦を通じ士会活動の活性化を図る。

<開催時期・場所>

第1回 27.5.29(金) 牧之原市静波

第2回 27.12.22(火) 牧之原市静波

第3回 28.1.29(金) 牧之原市静波

<事業内容>

地区内での交流会

<事業効果>

会員相互の情報交換と親睦を通じ士会活動を活性化する地区内での交流会を実施し、同じ地区の同業で働く者同士の意見交換ができた。

・地区会

<事業目的・趣旨>

地区の活性化推進

<開催時期・場所>

27.4.24(金) 17名

27.11.26(木) 12名

27.12.22(火) 20名

各3回 静波防災センター

<事業内容>

士会活動・ブロック活動の内容を地区会員

に伝え、意見交換を行う。

<事業効果>

地区会を開くことにより会員相互の理解が深まり、地区活動が活発となった。

c 西部ブロック

1 会員厚生委員会

ア. オリエンテーション

<事業目的・趣旨>

建築士会の組織の説明と会員活動の推進

<開催時期・場所>

27.4.3(金)～28.2.5(金)

西部ブロック事務局

<参加者人数>

正会員14名 賛助会員1社

<事業内容>

新人会員への活動目的や組織体制等の説明を行うと共に、各委員会活動の紹介を行い、入会後の円滑な委員会活動への参加を促す。

<事業の効果>

円滑な委員会活動への参加が図られた。

イ. 会員親睦会

<事業目的・趣旨>

会員・家族の交流促進

<開催時期・場所>

27.8.3(日) 渚園キャンプ場

<参加者人数>

61名

<事業内容>

会員とその家族等の参加でバーベキュー、ゲームなどを行い、それぞれの親睦を深める。

<事業の効果>

会員と家族との交流や委員会の垣根を越えた会員相互の交流を通じて、ブロック全体の親睦が図られた。

ウ. 新年懇親会

<事業目的・趣旨>

会員の親睦事業

<開催時期・場所>

28.1.15(金) ホテルクラウンパレス浜松

<参加者人数>

77名

<事業内容>

新年を迎え会員間の情報交換を行うと共に会員相互の親睦を深める。

<事業の効果>

各種団体の代表の方や会員相互の交流が図られた。

エ. 会員交流会

<事業目的・趣旨>

委員会間の交流促進

<開催時期・場所>

28.3.5(土) 袋井グランドボウル

<参加者人数>

27名

<事業内容>

ボウリングで会員相互の親睦を深める。

<事業の効果>

軽スポーツを通じ委員会相互の交流が図られた。

2. 事業研修委員会

ア. 技術見学会

<事業目的・趣旨>

新施設・新技術(工場工程見学、メーカー講習会等)のバスでの日帰り見学会の企画・運営

<開催時期・場所>

27.6.24(水) (株)マイ本社工場、東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所

<参加者人数>

31名

<事業内容> 「(株)マイ本社工場・東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所」：装飾アルミサッシ設計製造の『(株)マイ本社工場』と高レベル放射性廃棄物の地層処分を研究している『東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所』の見学を企画

<事業の効果>

建築士として必要な新技術・新知識を学ぶことができた。

イ. 各種講習会

<事業目的・趣旨>

建築士を対象とした講習会の企画・運営

<開催時期・場所>

27.9.8(火) アクティ浜松研修交流センター

<参加者人数>

68名

<事業内容>

「建築士定期講習会」

建築士の定期講習会

<事業の効果>

建築士としての知識向上が図られた。

ウ. 建築探訪(全国大会 石川大会)

<事業目的・趣旨>

新旧の建築・施設の見学と、その土地の文化に接する、一泊二日の研修旅行の企画・運営

<開催時期・場所>

27.10.30(金)～31(土)

《1日目》

白川郷、武家屋敷跡野村家、東茶屋街、石川県立音楽堂(全国大会会場)

《2日目》

金沢城、兼六園、金沢21世紀美術館、富山市ガラス美術館

<参加者人数>

33名

<事業内容>

「白川郷」にて昼食及び散策、「武家屋敷跡野村家」「東茶屋街」にて金沢の文化に触れ、「金沢城」「兼六園」と伝統的建築物を巡り、「金沢21世紀美術館」「富山市ガラス美術館」などの近代的建築物にも触れた。

<事業の効果>

全国大会 石川大会に合せ、金沢を中心に国宝から近代建築まで幅広く見学し、建築士としての知識の向上に努めた。また会員同士の親睦を深めることができた。

3 青年企画委員会

ア. 浜松工業高校交流会

<事業目的・趣旨>

建築科生徒に、若手建築士との交流を通じて、建築の仕事に関心を深めてもらう。

建築士の仕事の多様性を示し、さまざまな将来が開けていることを知ってもらう。

<開催時期・場所>

27.11.13(金) 静岡県立浜松工業高校 会議室 対象：同校建築科2年生

<参加者人数>

青年企画委員会員参加者：14名

<事業内容>

・建築士の仕事や建築に関することについて、発表者3名に合計約1時間発表してもらう。

・発表後、生徒と委員会員でグループに分かれて、グループワークを行い交流を深める。

・質疑応答を行い、グループワークで出た話の紹介や質問を委員会員が答える。

<事業の効果>

建築士を目指す若者の育成のため、建築士

及び建築士会のPRを行った。この中から資格取得者が生まれ、新規会員となることを期待したい。

イ. 天竜高校交流会

<事業目的・趣旨>

職業講和として交流会を行う。建築業界の社会事情や仕事の魅了を聞いてもらい、建設業について興味・関心を持ってもらう。そして、社会人としての責任や生活についての体験談を聞き、今後の進路選択の一助としてもらう。

<開催時期・場所>

- 28.1.19 (火) 静岡県立天竜高等学校 教室 対象：同校1年次生 建築系列
28.2.12 (金) 静岡県立天竜高等学校 教室 対象：同校2年次生 建築系列

<参加者人数>

- 28.1.19 青年企画委員会参加者：15名
28.2.12 青年企画委員会参加者：8名

<事業内容>

- ・仕事に対する心構えややりがい、楽しみ、体験談などについて、発表者4名に合計約40分発表してもらう。
- ・発表後、生徒と委員会員でグループに分かれて、グループワークを行い交流を深める。
- ・質疑応答を行い、グループワークで出た話の紹介や質問を委員会員が答える。

<事業の効果>

建築士を目指す若者の育成のため、建築士及び建築士会のPRを行った。この中から資格取得者が生まれ、新規会員となることを期待したい。

ウ. 全国建築士フォーラム

<事業目的・趣旨>

全国大会前日に開催される全国建築士フォーラムへの参加を目的とする。
全国の建築士会青年委員の活動報告を通し、自県の今後の活動の参考とする。

<開催時期・場所>

- 27.10.29 (木) 石川県立音楽堂 1階 交流ホール

<参加者人数>

青年企画委員会参加者2名

<事業内容>

- 1) 会場内で発表事例のパネル展示
- 2) 各ブロック代表による全体発表
- 3) テーブルワークショップ (3回)
- 4) 投票及び表彰 (アワード)

全国からの参加者 306名

<事業の効果>

他県の活動の報告を受け、今後の青年企画委員会の活動の参考とすることができた。

また、他県の青年企画委員との貴重な交流の場となった。交流を通じて建築士としての資質の向上につながった。

エ. 青年大会

<事業目的・趣旨>

静岡県の青年建築士会会員が一堂に会し、ブロック毎の事業や取組についての報告、新規会員の取り込みのための方法等について話し合いをし、県内の青年会員の交流を図ると共に、見学研修を通して青年建築士の資質向上を図る。

<開催時期・場所>

27.6.20~21 (土日) 伊豆市修善寺周辺

<参加人数>

青年企画委員会参加者 7名

<事業内容>

- 1日目 青年会議、親睦会
2日目 青年会議、修善寺視察

<事業の効果>

ブロックの事業報告から課題を見つけ、情報を共有することでブロックの垣根を越えた活動へ繋げることができた。見学研修を通じて建築士としての資質の向上につながった。

オ. 一級建築士製図課題建物見学研修会

<事業目的・趣旨>

昨今の会員減少問題に対して、これから資格をとる方への建築士会のアピールを目的とした研修会。一級建築士の製図課題に沿う建物を見学することで、各自の試験合格への一助とし、その後の入会へつなげていく。

<開催時期・場所>

27.8.22 (土)
まはえ 瀬名花壇 (静岡市)

<参加者人数>

参加者：26名 (受験者又は受験見込み者)
青年企画委員会参加者：10名

<事業内容>

平成27年度一級建築士試験
「設計製図の試験」課題
『市街地に建つデイサービス付
高齢者向け集合住宅』

施設の管理者へ依頼し、建物の見学研修会を行った。道中をバス移動とし、試験への心構え・体験談を委員から参加者へお話しした。建築士会の組織・活動についての説明を行い、募集案内を行った。

<事業の効果>

受験者への合格の一助となる研修会ができた。受験者との交流、入会への案内をし、建築士会のアピールの場となった。

カ. 東海北陸ブロック会議

<事業目的・趣旨>

この大会は、東海北陸7県の青年建築士・女性建築士が一堂に会し、各県で行われている地域実践活動の発表・報告及び、地域を知って頂く目的の活動を行うことで、建築士の資質の向上を図るものである。本大会は各県持ち回りで行われており、今年度は静岡県が担当県となり、伊豆市修善寺にて開催された。

<開催時期・場所>

28.2.20(土)～2.21(日)
メイン会場 修善寺総合会館

<参加者人数>

青年企画委員会参加者：10名

<事業内容>

テーマ：「～原点回帰～」

開会式

全体会

各県活動報告

連合会青年委員会報告

近畿ブロック青年部活動報告

ワークショップ

まちあるき

閉会式

<事業の効果>

建築士を取り巻く最近の状況など、有意義な意見交換が図られるとともに、資質の向上につながった。

4 広報情報委員会

ア. 建築士会 HP、ブログ更新研修会

<事業の目的・趣旨>

建築士 HP ブログ有効活用の推進

<開催時期・場所>

26.9.4(木) 西部ブロック事務局

<参加人数>

19名

<事業内容>

講師を招き、ブログ更新方法をプロジェクターにて解説頂いた。また実例でホームページへの投稿を行った。

<事業効果>

各委員会ブログ更新の手順を理解し今年度事業の情報発信に役立った。

イ. 西部ブロック活動報告まとめ

<事業目的・趣旨>

ブロック事業・地区事業・委員会事業の記録及び次年度の活動・PRへ活かしていく。

<開催時期・場所>

27.4.9(木) 西部ブロック事務局

<参加人数>

6名

<事業内容>

昨年度の事業内容をまとめ編集・校正作業を行った。印刷後はブロック報告会にて配布、会員へ発送。また各事業・西部ブロックのPRに活用した。

<事業効果>

活動状況が写真入りで解り易くなり記録の保存にも役立った。またブロック各事業にて資料として活用した。

5 まちづくり委員会

ア. ヤマタケの蔵見学会

<事業目的・趣旨>

地域文化財のヤマタケの蔵がまちづくり委員により国登録文化財となり建物及び周辺状況視察

<開催時期・場所>

27.5.16(土) 浜松市天竜区二俣

<参加人数>

会員 16 名

<事業内容>

登録文化財への経緯と建物説明

<事業効果>

歴史的建造物の文化的価値と登録経緯を学ぶことができた。

イ. 浜松市北区影山邸解体现場見学会

<事業目的・趣旨>

木造 2 階建伝統建築解体における古材の再利用検討

<開催時期・場所>

27.5.17(日) 浜松市北区細江町

<参加人数>

会員 10 名 一般 50 名

<事業内容>

大正 2 年建設 6 0 坪の住宅より再利用できる材料の引取見学会

解体前資材引取 1 回目

27.10.23 (金) 13 名

解体前資材引取 2 回目

27.10.26 (月) 3 名

<事業効果>

解体される建物より再利用できる材料を取り出しリデュース・リユースを行った。

ウ. 長野県北部断層地震現地調査

<事業目的・趣旨>

長野県神城断層地震地区雪解けによる現地資料保存調査

<開催時期・場所>

27.5.26(火)~27(水) 長野県北安曇郡小谷村

<参加人数>

会員 3 名

<事業内容>

建物及び文化財の被害調査

<事業効果>

断層地震による建物被害調査と文化財レス

キューの現地調査により素養育成が図られた。

エ. 東区中郡地区郷蔵視察調査

<事業目的・趣旨>

登録文化財に向けての予備調査・視察

<開催時期・場所>

27.6.23 (火) 浜松市東区中郡町

<参加人数>

会員 5 名

<事業内容>

現状状況調査・登録文化財の説明

<事業効果>

会員の文化財建造物に関する素養育成が図られた。

オ. 伊豆石の蔵巡回展示

佐久間図書館・春野歴史民族資料館・

細江歴史民族資料館・伊東市役所ホール

<事業目的・趣旨>

県西部伊豆石建造物調査資料展示し一般に広く伊豆石を知らせるためと石蔵情報収集

<開催時期・場所>

27.9.25 (火) ~27.11.13 (金)

浜松市天竜区佐久間・春野・浜松市北区細江町、伊東市大原

<参加人数>

会員 20 名 一般 800 名

<事業内容>

各地で伊豆石蔵パネル展示と現地研究者との意見・情報交換ギャラリートーク

<事業効果>

伊豆石蔵の情報を公開し各地にある石蔵の情報収集と地元知識者との交流が図られた。

カ. 東洋濾器研究所視察

<事業目的・趣旨>

建築学会賞受賞近代建築研究所建物視察

<開催時期・場所>

27.10.5 (月) 浜松市天竜区二俣

<参加人数>

会員 18 名

<事業内容>

近代建築の視察

<事業効果>

会員の建造物に関する素養育成が図られた。

西部ブロック地区事業

(1) 小笠地区

・地区会

<事業目的・趣旨>

会員相互の交流

<開催時期・場所>

第 1 回 27. 6. 11 (木) 若松ニューホテル
掛川

第 2 回 27. 12. 10 (木) 掛川商工会議所

第 3 回 28. 3. 17 (水) 掛川商工会議所

<参加者人数>

第 1 回 10 名

第 2 回 12 名

第 3 回 8 名

<事業内容>

第 1 回 平成 27 年度ブロック事業予定

第 2 回 ブロック事業、地区事業の報告及び
参加依頼

第 3 回 ブロック事業の報告、28 年度事業・
予算報告

<事業の効果>

会員相互の情報交換が図られた。

・講習会

<事業目的・趣旨>

建築士としての自己研鑽のための講習会

<開催時期・場所>

第 1 回 27. 6. 11 (木) 若松ニューホテル
掛川

第 2 回 27. 12. 10 (木) 掛川商工会議所

第 3 回 28. 3. 17 (水) 掛川商工会議所

<参加者人数>

第 1 回 14 名

第 2 回 22 名

第 3 回 13 名

<事業内容>

第 1 回 「改正建築基準法、法解釈の解説等」

講師 (一財) 静岡県建築住宅まちづくり
センター 青木氏 中村氏

第 2 回 「崖条例の取り扱いと建築物の定期
報告について」「長期優良住宅申請
が簡単にできるソフト「ホームズ
君」について」

講師 (一財) 静岡県建築住宅まちづくり
センター 二俣氏

講師 志茂野構造研究室 志茂野氏

第 3 回 「住宅の取得・改修に関する支援制
度」「建築基準法をめぐる最近の
動向」

講師 (一財) 静岡県建築住宅まちづく
りセンター 二俣氏 中村氏

<事業の効果>

建築士として必要な知識の習得ができた。

・ジモト行政との意見交換会

<事業目的・趣旨>

地元の行政と地元の建築士との情報交換

<開催時期・場所>

27. 6. 11 (木) 若松ニューホテル掛川

<参加人数>

15 名 (3 市の都市建設課より 5 名含む)

<事業内容>

地元 3 市 (掛川市、菊川市、御前崎市) の
都市建設課・都市政策課の担当者との意見交
換、及び担当者による各市の平成 27 年度の制
度・補助金の説明

<事業効果>

地元行政担当者との、意思疎通・情報交換
が図られた。

・移動パネル展・まちなみ探検隊・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

地元根付いた建築士の仕事を、地元の住
民に知ってもらう為に、パネル展「ジモトの
シゴト展」を開催

<開催時期・場所>

パネル展 IN 掛川

27. 8. 1 (土) ~ 8. 29 (土) 掛川市役所ロ
ビー

パネル展 IN 横須賀「横須賀まちなみ探検隊」

27. 9. 19 (土) 遠州横須賀

27. 10. 23(金)～25(日)横須賀ちっちゃな
文化祭

パネル展 IN 菊川

28. 2. 1 (月)～29 (月) 戸田書店リブレ
菊川店

<参加人数>

パネル展示者数 27名 (3回合計)

まちなみ探検参加者数 8名

<事業内容>

地元の建築士会会員の建築士による住宅・
建築の作品パネル展。同時に掛川・菊川の期
間中各 2 回の無料建築相談を行った。横須賀
まちなみ探検隊は、地元の町並みを建築士の
目線で再発見し、パネルとして発表しました。

<事業効果>

地元の市民に、建築士を身近に感じ、建築
士会の PR に繋がった。

(2) 中遠地区

・地区会

<事業目的・趣旨>

会員相互の交流事業

<開催時期・場所>

第 1 回 27. 6. 30 (火) 袋井総合センター
第 2 回 27. 11. 27 (金) 袋井総合センター
第 3 回 28. 3. 23 (水) ワークピア磐田

<参加者人数>

第 1 回 11 名
第 2 回 18 名
第 3 回 15 名

<事業内容>

第 1 回 平成 26 年度ブロック事業予定につい
て
第 2 回 ブロック事業、地区事業の報告及び参
加依頼
第 3 回 ブロック事業の報告、28 年度の事業、
予算報告

<事業の効果>

会の円滑な運営に資すことができた。

・講習会

<事業目的・趣旨>

建築士としての自己研鑽のための講習会

<開催時期・場所>

第 1 回 27. 6. 30 (火) 袋井総合センター

第 2 回 27. 11. 27 (金) 袋井総合センター
第 3 回 28. 3. 23 (水) ワークピア磐田

<参加者人数>

第 1 回 23 名
第 2 回 32 名
第 3 回 20 名

<事業内容>

第 1 回 改正建築基準法・まちセン Q ナビフ
ォローアップ講習会

第 2 回 ①最新の行政情報 (市町がけ上利の
取扱、建築物定期調査報告判定基準
の改正

講師 (一財) 静岡県建築住宅ま
ちづくりセンター

②長期優良住宅 (品確法) 申請が簡
単にできるソフト「ホームズ君」実
演

講師 志茂野氏、倉田氏

第 3 回 住宅の今後の太陽光発電・蓄電池
について

講師 エコ&セーフティコンサル
代表 鮫島嗣視氏

<事業の効果>

建築士として必要な知識の習得ができた。

・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

一般市民向けに気軽に建築相談できる場所
を提供

<開催時期・場所>

予約制で毎週日曜日 磐田市総合健康福祉
会館にて開催

今年度は年 1 回実施

27. 5. 31 (日)

予約制の定例建築無料相談とは別に昨年度
に続き、磐田市建築住宅課と共催で 28. 1. 17
(日) に竜洋なぎの木会館玄関ホールにて
無料建築相談会を開催。2 名の相談者があつ
た。

<相談員数>

各回 2 名

<事業の効果>

市民の安心・安全な住環境に資することが
できた。

(3) 浜松地区

・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

一般市民向けに気軽に建築相談できる場所を提供

<開催時期・場所>

予約制で毎月第2、4土曜日に西部ブロック事務局及び浜北地区なゆた浜北にて開催
浜松地区は年4回実施

27.5.9、27.6.13、27.11.28、27.12.12（各土曜日）

27年度は浜北地区での相談はなかった。

予約制の定例建築無料相談とは別にろうきん「住宅セミナー」に講師として2名を派遣した。

<相談員数>

各回2名

<事業の効果>

市民の安心・安全な生活に資することができた。

IV 事業参画団体関係

- ア. (公社)日本建築士会連合会
- イ. (公社)日本建築士会連合会東海・北陸ブロック会議
- ウ. (公財)建築技術教育普及センター
- エ. (公財)建築技術教育普及センター東海北陸支部
- オ. (一財)日本建築防災協会
- カ. (一社)静岡県建築士事務所協会
- キ. (公社)日本建築家協会東海支部静岡地域会
- ク. (一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター
- ケ. 静岡県住宅振興協議会
- コ. 静岡県美しいまちづくり推進協議会
- サ. 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会
- シ. 静岡県建築文化研究会
- ス. 中部建築賞協議会
- セ. 静岡県防犯まちづくり協議会
- ソ. 静岡県東海地震対策士業連絡会 ほか